
“神戸・瀬戸内海”魅力溢れる **クルーズ旅行** への誘い いざない
～海から眺める魅力景観・出会い・ふれあいの旅路～

平成 19 年度全国都市再生モデル調査

「神戸港発着の船旅（瀬戸内海クルーズ）による観光振興のための調査」



2008年3月

国土交通省 神戸運輸監理部

（調査受託 社団法人神戸経済同友会）

はじめに

本調査は、「瀬戸内海クルーズという広域観光を振興することで、神戸のみならず広く瀬戸内海地域の活性化が図れないか」という神戸経済同友会の提案を受けて、内閣府の全国都市再生モデル調査のひとつとして、必要な調査を行いとりまとめたものです。

本調査は、海事、観光に係る産学官の専門家による「せとうちクルーズ事業化研究委員会」を設け、委員の皆様にご密度の濃い議論を行なって頂きました。

本報告書は、「海側から見た神戸・瀬戸内海地域の魅力ある景観の発掘」など、「クルーズ旅行だからこそ楽しめる旅の魅力の発掘」をコンセプトに、「国内クルーズ・マーケット調査」を行い現状をしっかりと認識したうえで、①「神戸・瀬戸内海地域の観光資源」、②「クルーズ船内でのイベント、食事などの事例」、③「寄港地におけるおもてなしの事例（歓送迎イベント、エクスカージョンなど）」について調査研究を行い、「せとうち」の多様な魅力と旅行ニーズの動向を踏まえ、将来の事業化をも展望した瀬戸内海クルーズのモデルプランを提案しました。そして、最後に、調査研究の中で浮かび上がってきた瀬戸内海クルーズ事業化への課題を整理しました。

「せとうち」には、多島美をはじめとする素晴らしい景観、歴史や文化に彩られた観光資源、豊かな食材があり、旅人を温かく迎える地元の人々がいます。また、瀬戸内海に浮かぶ島々には、日本の原風景が色濃く残り、気付かれていない沢山の魅力が眠っているはずです。

クルーズは移動、宿泊、食事、観光が一体となった気楽なパック旅行であり、船内のイベントや寄港地でのエクスカージョンに参加するもよし、景観のシークエンスを楽しみながらゆっくりと船上でくつろぐもよし、「気ままで自由な旅行」でもあります。多様化する旅行ニーズを満たすことができ、高齢者や障害者なども参加しやすいクルーズは、「新しい旅のカタチ」として今後普及していくことが期待されます。

本報告書が瀬戸内海クルーズの多様な魅力を十分に伝えられているか不安は残りますが、「せとうち」と「クルーズ」がひとつとなった「瀬戸内海クルーズ」が事業化され、「クルーズによる交流が地域の活性化・魅力向上につながり、さらに交流が拡大する」という好循環の萌芽となればと強く願っています。

最後になりますが、貴重なご指導をいただいた齋木委員長はじめ「せとうちクルーズ事業化研究委員会」に参加頂いた産学官の各位、訪問調査などご協力を頂いた各地の皆様に対して、厚く御礼を申し上げます。

国土交通省 神戸運輸監理部

—全体目次—

1. 国内クルーズ・マーケット調査	1
1-1. 国内旅行と団塊世代の旅行志向	1
1-2. 団塊世代のクルーズ需要	4
1-3. Webアンケートによる「瀬戸内海クルーズ」ニーズ	6
1-4. 国内クルーズ・マーケットの課題と可能性	15
2. 神戸・瀬戸内海地域の魅力ある観光資源調査	16
2-1. 観光資源台帳による神戸・瀬戸内海地域の資源	16
2-2. 瀬戸内海らしい観光素材	20
2-3. 港周辺の観光資源分布	28
2-4. 海（船）から見た瀬戸内海景観の魅力	51
3. クルーズ船内アトラクションとおもてなし事例調査	55
3-1. クルーズ船内の魅力付け	55
3-2. 寄港地での「おもてなし」について	58
4. 瀬戸内クルーズ・モデルプラン	61
4-1. 検討の枠組み	61
4-2. モデルコース案の例	63
5. 事業化への課題整理	71
5-1. 観光資源からみた課題と可能性	71
5-2. クルーズ需要からみた課題と可能性	72
5-3. 事業化、商品化への課題と可能性	73

【参考資料】

- 参考資料—1 Webアンケート自由記述内容
- 参考資料—2 瀬戸内海の観光資源
- 参考資料—3 ぱしふいっくびいなす、にっぽん丸 船内アトラクション事例
- 参考資料—4 寄港先候補地、「おもてなし」先進事例地ヒアリング結果

【研究委員会記録】

- 委員名簿
 - 活動記録
-

1. 国内クルーズ・マーケット調査

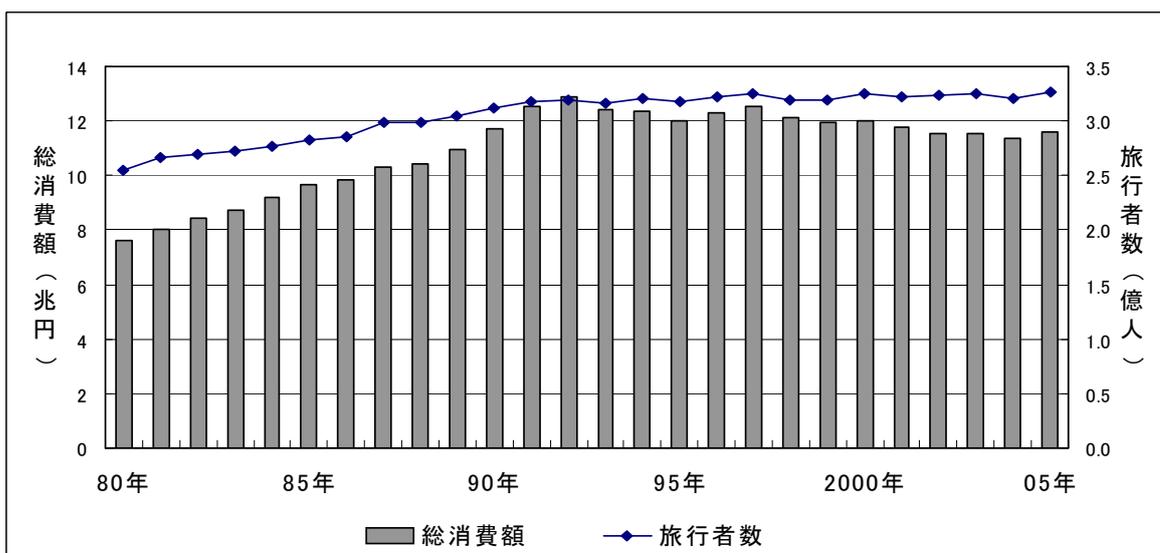
1-1. 国内旅行と団塊世代の旅行志向

まず、国内クルーズ・マーケットを調査するうえでの基礎となる、国内観光旅行の基本動向及び、定年退職を迎え資金的・時間的なゆとりが今後増えると見られる団塊世代の余暇・旅行志向を確認する。

①国内観光旅行の基本動向

<旅行者数と消費額>

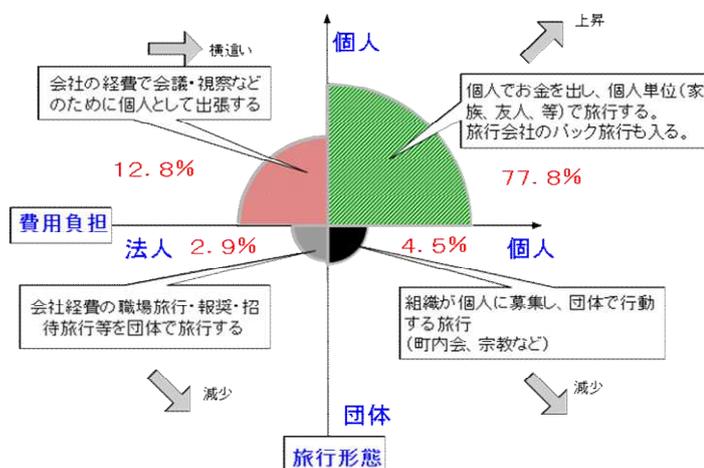
国内宿泊観光の旅行者数は、バブル期以降緩やかながらも増加傾向となっているが、バブル期をピークに1回・1人当たり旅行費用（消費額）は減少基調にあり、トータルの旅行費用額（総消費額）は若干減少傾向で推移している。今後当面、わが国人口が減少傾向を迎えることも避けがたく、国内観光旅行は基本的に成熟化した商品と考えられる。



(資料) 2001年まで：財団法人日本交通公社推計、2002年以降：株式会社ツーリズム・マーケティング研究所推計

<個人旅行志向>

以前より指摘されている通り、旅行の「個人化」が進んでおり、「旅行形態」（団体旅行 or 個人旅行）と「費用負担」（法人負担 or 個人負担）により、宿泊旅行を区分すると、「個人旅行で個人負担」が全体の8割近くを占める状況となっている。

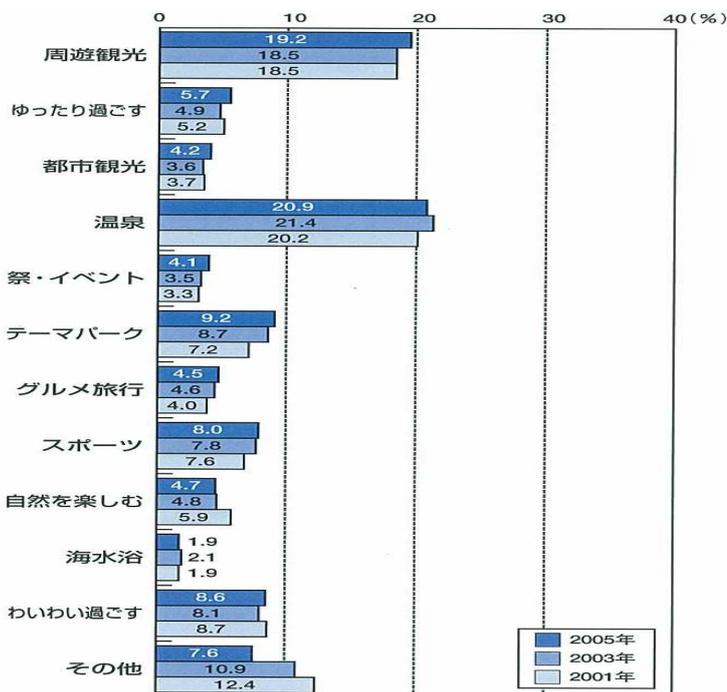


(出所) 財団法人日本交通公社「旅行者動向2006」

<国内旅行の目的>

日本人の国内旅行の目的としては、「温泉」が第1位、「周遊観光」（転々と観光地、観光資源を見て回る観光）が第2位を占めている。

また、比率はさほどでもないが、「ゆったり過ごす」、「テーマパーク」、「スポーツ」、「グルメ旅行」といった目的の旅行も着実に伸びてきている。



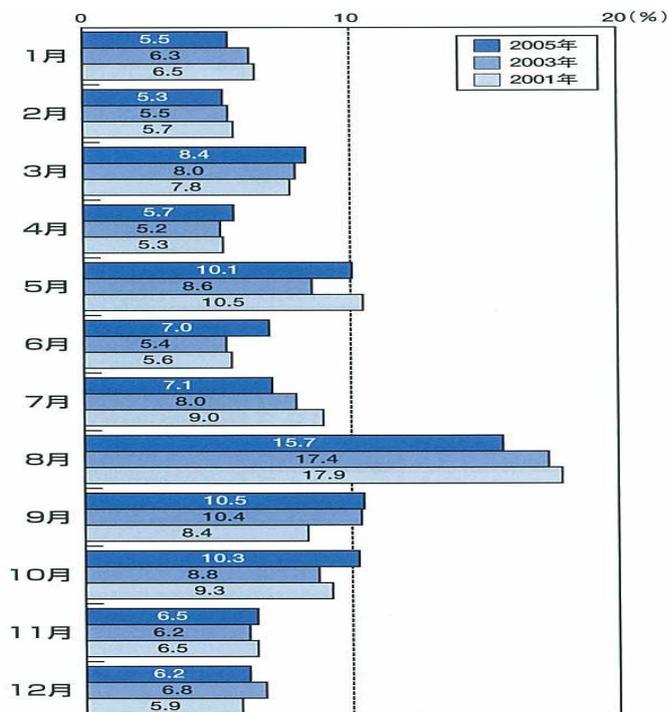
(出所) 財団法人日本交通公社「旅行者動向 2006」

<実施時期>

1年の中での旅行を行う時期（何月か）は、夏休みのある8月に集中しているが、徐々にそのピーク性は下がっている。

ピーク性の低下の背景としては、休暇制度の変更や休暇を取得することに対する国民意識の変化があると思われる。

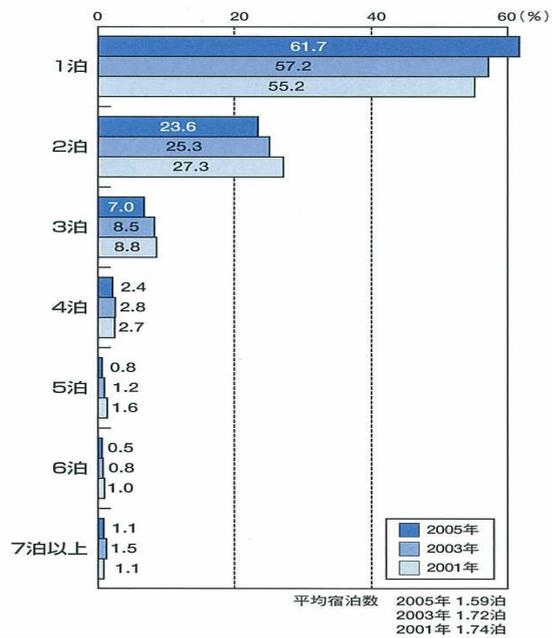
高齢化が進み、自由になる時間が多い人々が増えれば、さらにこの傾向は高まるものと考えられる。



(出所) 財団法人日本交通公社「旅行者動向 2006」

<宿泊数>

バブル期以降、国民の年間旅行回数自体は変わらないものの、1回あたりの宿泊日数は短期化しており、2泊や3泊の旅行が減少し、1泊旅行が主体となっている。

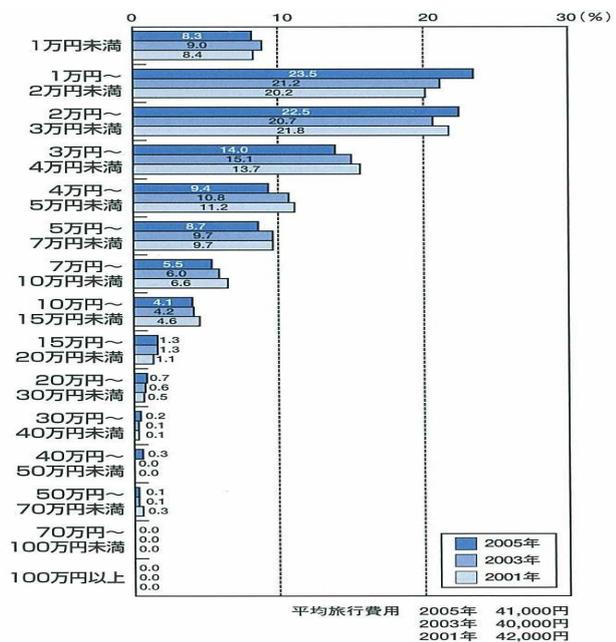


(出所) 財団法人日本交通公社「旅行者動向 2006」

<金額>

旅行の短期化により、1回あたりの旅行費用には減少傾向が見られる。

平均費用別の構成比を見ると、3万円以上の比率が低下している一方、1万円以上3万円未満の比率が上昇、1万円未満の比率が横ばいとなっている。



(出所) 財団法人日本交通公社「旅行者動向 2006」

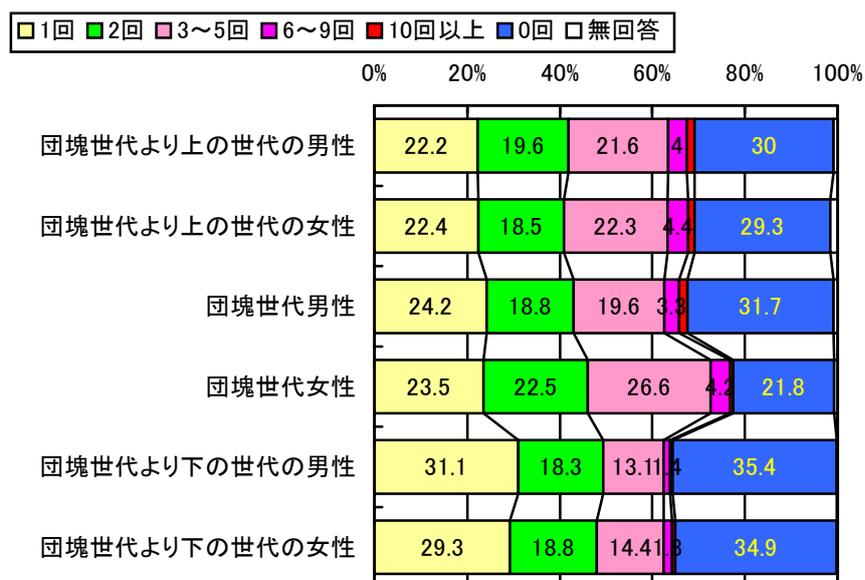
1-2. 団塊世代のクルーズ需要

本節では、2007～2010年にかけて定年退職を迎え、クルーズ旅行に参加するための金銭的・時間的余裕を持つようになる団塊世代に焦点をあてて、彼等のクルーズ旅行に対するニーズを分析する。

<団塊世代の国内旅行回数>

年間の国内宿泊観光旅行回数についてみると、団塊世代では、女性はかなり多め、男性はやや少なめとなっている。これは、女性は専業主婦で育児も終わっている人が多い一方、男性はまだ仕事を持っている人が多いためと見られる。

団塊世代より上の世代については、団塊世代の女性に比べると回数が少なく、旅行に対する積極性の違いや体力面の衰えなどが影響していることが考えられる。また、団塊世代より下の世代については、団塊以上の世代に比べ回数はかなり少なく、仕事や育児などで時間的余裕がないものと見られる。



(出所) 社会経済生産性本部「レジャー白書2006 - 団塊世代・2007年問題と余暇の将来」

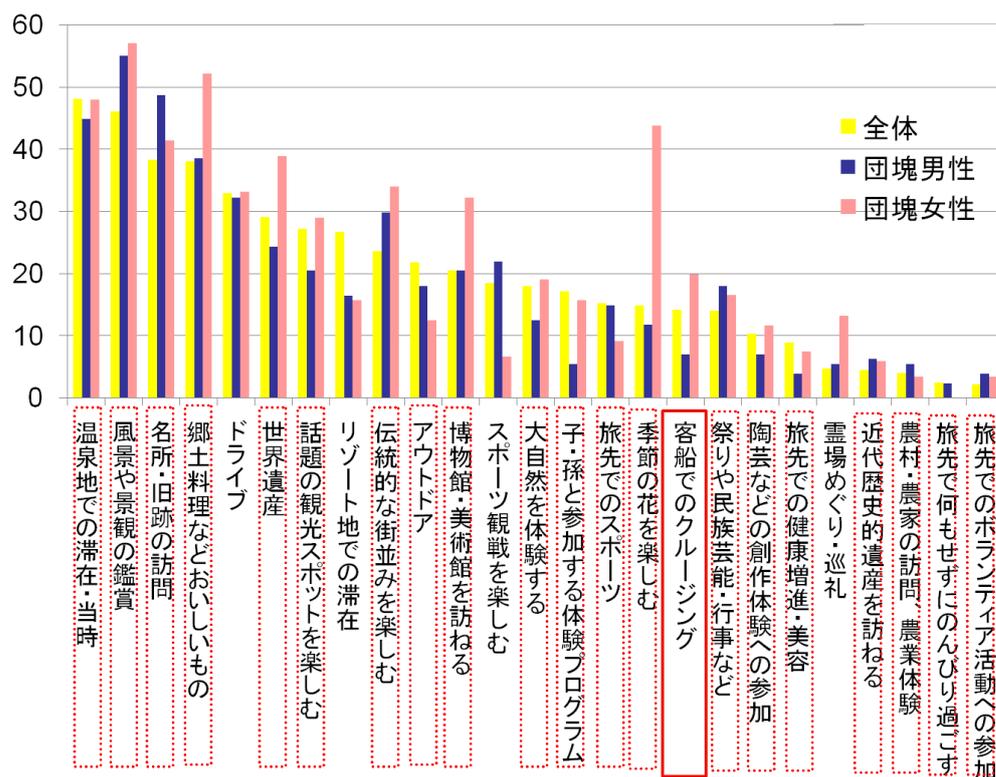
<クルーズ旅行に対する志向>

団塊世代の「これから10年で行きたい旅行」は、「風景や景観」や「名所・旧跡」、「温泉」、「グルメ」などが上位を占めるほか、団塊世代の女性では「季節の花」への希望も多い。一方、「客船によるクルージング」を希望する割合は、団塊世代の女性が20%に達しているのに対して、男性は10%未満に止まっている。

もっとも、「せとうちクルーズ」は、「客船によるクルージング」に、「風景や景観」や「名所・旧跡」、「グルメ」などを加えた総合旅行であり、色々な観光要素を盛り込むことが可

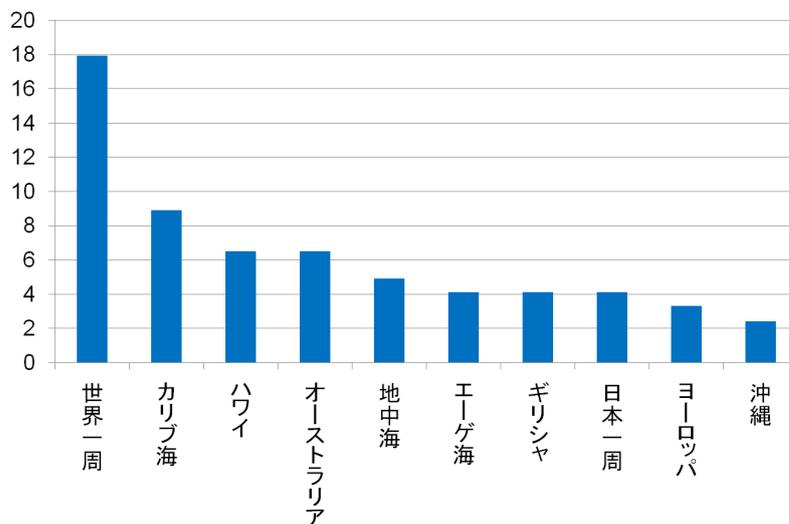
能である（下図の点線で囲った項目はクルーズで楽しむ事が可能）。こうした観点で考えれば、「せとうちクルーズ」への潜在的な参加希望はかなり大きいものと考えられる。

総じて、団塊世代の男性は女性に比べ、「どんな旅行がしたいか」を具体的にイメージできていないと推察されるため、クルーズ旅行のアピールや動機付けには女性がキーポイントとなりそうである。



（出所）社会経済生産性本部「レジャー白書2000」

なお、団塊世代に限定したデータではないが、「クルーズ旅行で行きたい先」を聞くと、「世界一周」や「カリブ海」、「ハワイ」といった海外をあげる人が多く、国内は「日本一周」と「沖縄」が10位以内に入るに過ぎない。現時点では、「クルーズ」というと本格的なクルーズのイメージが強いようである。



1-3. Webアンケートにみる「せとうちクルーズ」ニーズ

① 調査目的

- ・ 団塊世代のクルーズ旅行に関する興味・関心を把握する。
- ・ 瀬戸内クルーズの骨格を提示した上で、団塊世代のニーズを把握する。
- ・ 団塊世代が考える、クルーズ旅行および船内プログラムの魅力について把握する。

② 調査対象

首都圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）・関西圏（大阪府、奈良県、京都府、和歌山県、兵庫県、滋賀県）・中部圏（愛知県、三重県、岐阜県、静岡県）に居住する50～79才の男女で、国内・海外に関らず旅行に興味を持っている人。

③ 調査方法

- ・ オプトインメールシステム（iMi ネットと呼ばれるシステムで、富士通株式会社が開始し、現在は富士通から独立した株式会社ライフメディアが運営）を利用。
- ・ 旅行に興味関心を持っている人を調査対象地居住者から抽出してプレ調査依頼メール（15,000通）を配信し、プレ調査依頼メールから返信のあった調査対象者（目標サンプル数2,000人）に対して本調査依頼メールを発信。
- ・ ホームページ上でインターネットアンケートに回答をしてもらう格好で本調査を実施し、目標サンプル数を回収した時点で調査を終了。

④ 調査期間

2008年1月18日～2月17日

⑤ 回収サンプル数と属性（居住地、年齢、性別、既・未婚） 回収サンプル数 1,843人

<居住地>

	首都圏	東京都	神奈川県	千葉県	埼玉県	関西圏	大阪府	奈良県	京都府	和歌山県	兵庫県	滋賀県	中部圏	愛知県	三重県	岐阜県	静岡県	その他	合計
回答者数	785	311	236	119	119	594	246	33	76	20	184	35	463	258	68	53	84	1	1,843
構成比	43%	17%	13%	6%	6%	32%	13%	2%	4%	1%	10%	2%	25%	14%	4%	3%	5%	0%	100%

<年齢>

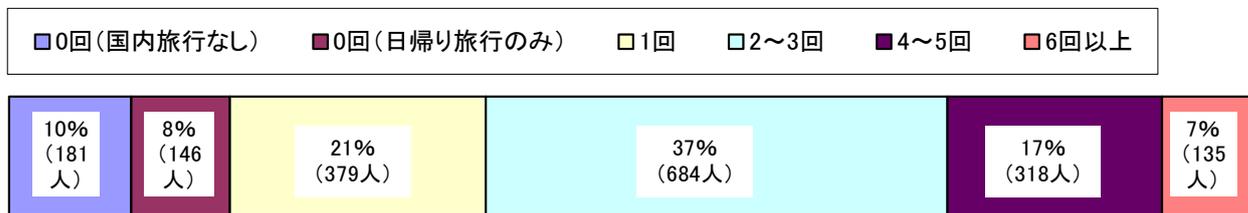
	50～54才	55～59才	60～64才	65～69才	70～74才	75～79才	合計
回答者数	433	367	514	312	179	38	1,843
構成比	23%	20%	28%	17%	10%	2%	100%

<性別、未婚・既婚>

	男性・既婚	男性・未婚	女性・既婚	女性・未婚	合計
回答者数	1,103	132	498	110	1,843
構成比	60%	7%	27%	6%	100%

<宿泊を伴う国内観光旅行>

■あなたは、2007年に宿泊を伴う国内観光旅行に何回行われましたか？



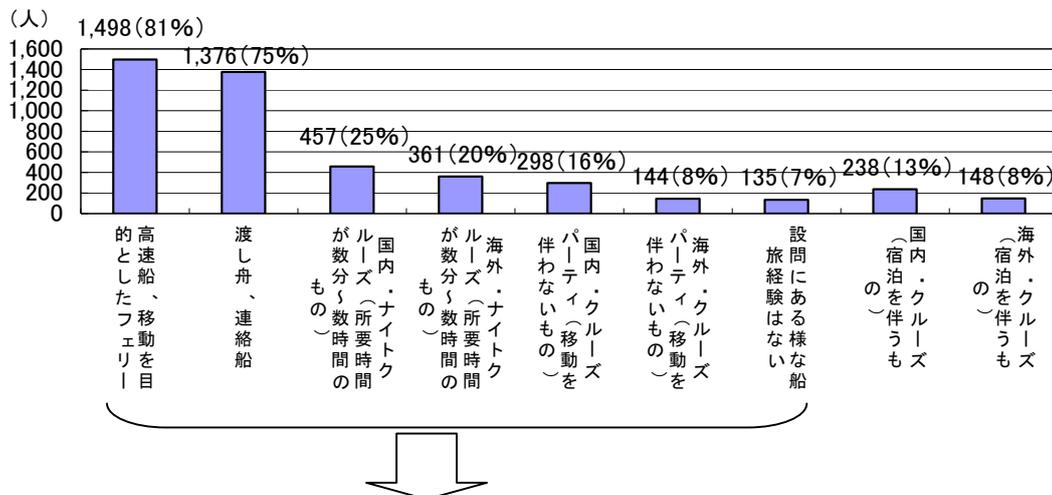
■直近の宿泊を伴う国内旅行の総額(宿泊費・交通費・お土産費など旅行中に掛かった費用すべて)



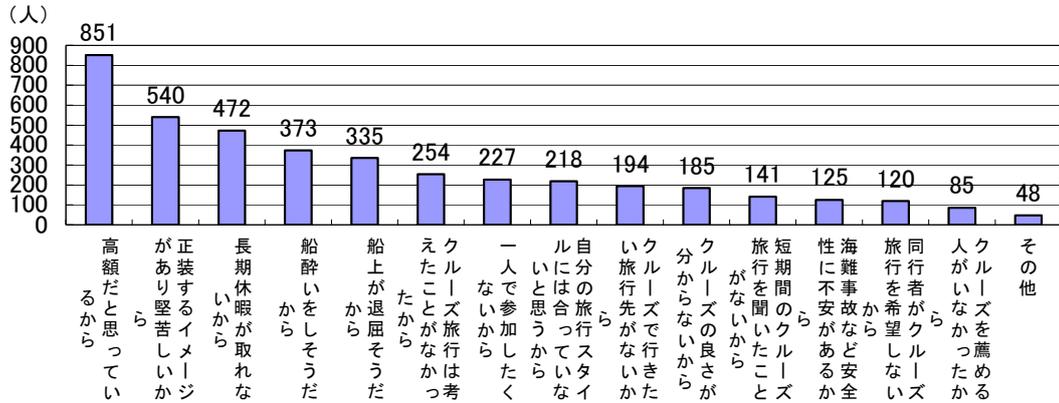
- ・ 60%の人は年間複数回の宿泊を伴う国内観光旅行を実施。
- ・ 直近の旅行の費用総額は、3~5万円と5~10万円が30%程度、10万円超が20%、1~2万円が16%。
 …「旅行・観光消費動向調査」(国土交通省 2003年)における観光目的の旅行中単価50,155円とほぼ同様の結果

<クルーズ経験>

■あなたが今まで乗船経験のある船の種類を以下からお答えください(複数選択:該当すべて)



■あなたがいままでクルーズ旅行をしなかった理由をお答えください(複数選択:該当すべて)



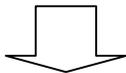
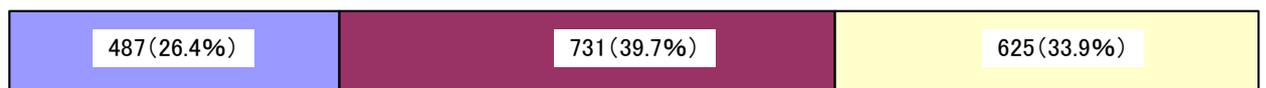
- ・ 宿泊を伴うクルーズの経験率は、国内クルーズが13%、海外クルーズが8%。
- ・ クルーズ旅行をしなかった理由は、「高額」、「堅苦しい」、「長く休めない」、「船酔い」、「船上が退屈」など。

<せとうちクルーズ>

■瀬戸内海で下記のような内容のクルーズ旅行があるとしたら、あなたはこのクルーズ旅行に参加したいと思いますか？

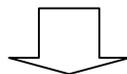
クルーズ船:ばしふいっくびいなす
 日程:2泊3日、初夏の平日
 コース:神戸→(明石海峡大橋、瀬戸大橋、因島大橋、来島海峡大橋)→瀬戸田<船中泊>
 →(瀬戸大橋)→高松<船中泊>→(小豆島沖、明石海峡大橋)→神戸
 料金:標準的な部屋で、1室2名利用1名10万円程度(神戸までの往復料金含まず)

参加したい 条件が合えば参加しても良い 参加したいと思わない

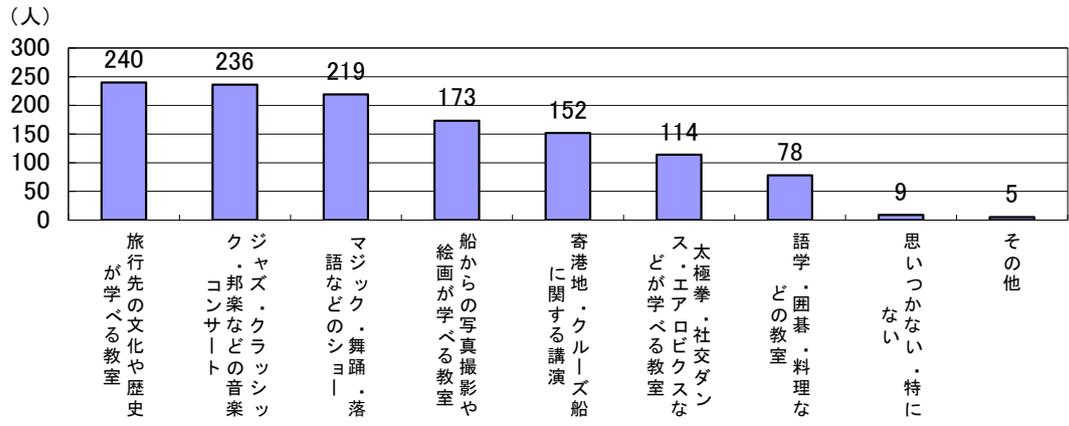


■あなたは、瀬戸内海クルーズ旅行中に、船内プログラムに参加すると思いますか？(参加費用は無料)

できるだけ沢山の船内プログラムに参加したい
 自分の興味・関心のあるプログラムを選んで参加したい
 船からの風景やクルーズ生活を楽しみたいので、船内プログラムには参加しないと思う

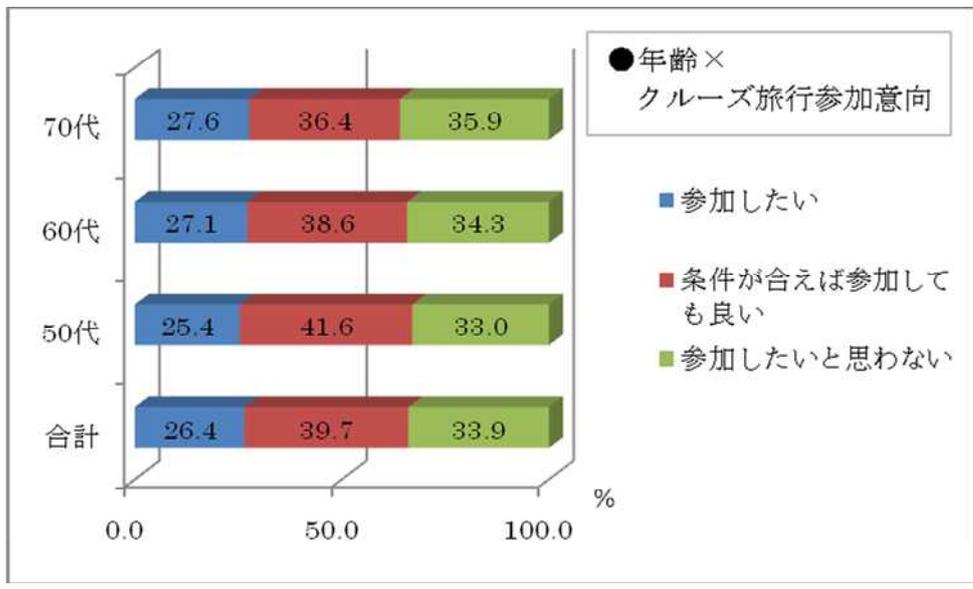


■あなたが参加したいと思うクルーズ船内のプログラムをお答えください(複数選択:該当すべて)



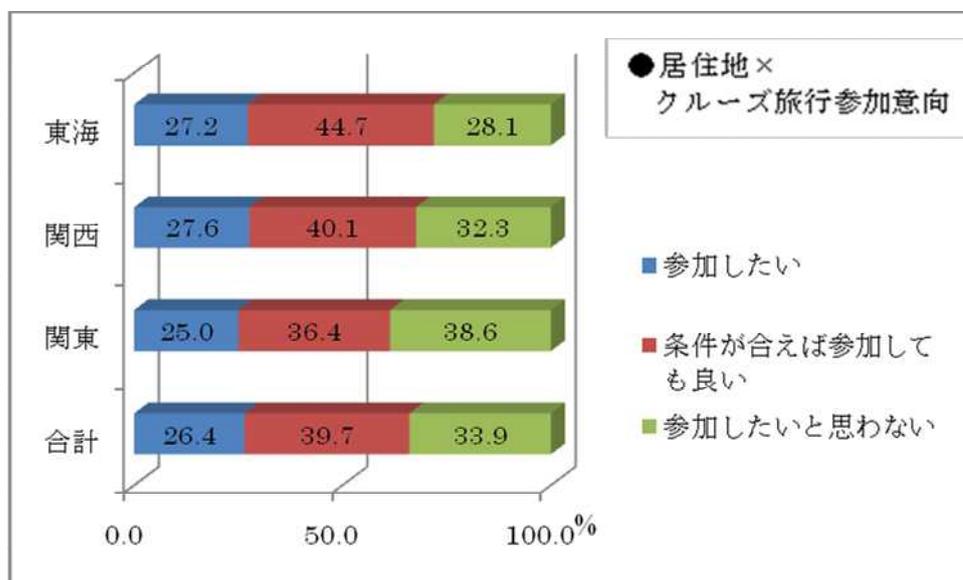
- ・ 「せとうちクルーズ」については、26%が「参加したい」、40%が「条件が合えば参加しても良い」を選択。
- ・ 船内プログラムについては、67%が「プログラムを選んで参加」、24%が「沢山のプログラムに参加」を選択。
- ・ 参加したいプログラムは、「旅行先の文化・歴史に関する教室」や「コンサート」、「ショー」、「写真や絵画の教室」、「寄港地・クルーズ船に関する講演」など。

<年齢×せとうちクルーズ参加意向>



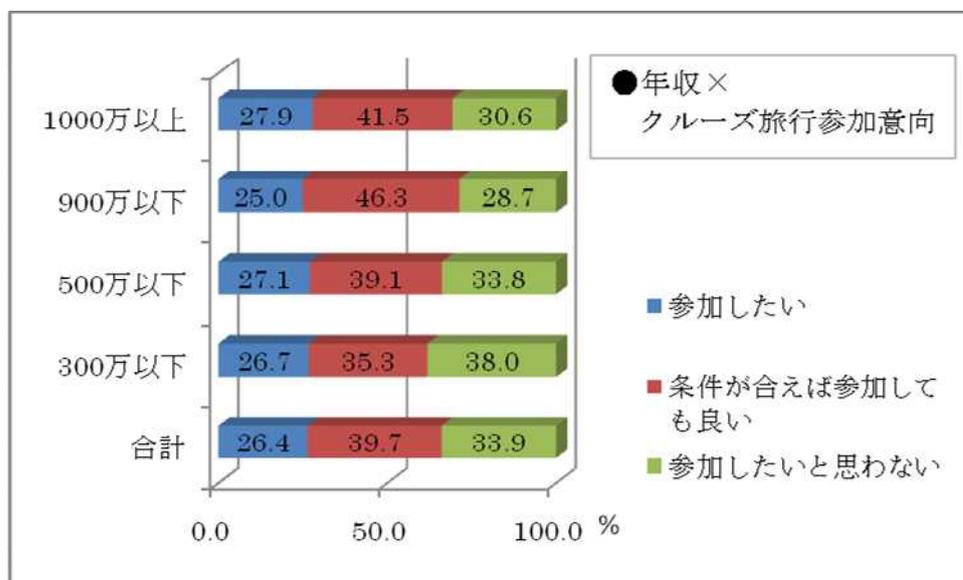
- ・ 年齢別のクルーズ旅行参加意向については、緩やかながら年齢が上がるほど「参加したい」が増加する一方、「参加したいと思わない」は年齢が下がるほど減少。
- ・ 50才代は仕事をしている人が多く、時間的な制約からクルーズ旅行に参加し難いものの、潜在的な参加希望は高いものと見られる。

<居住地×せとうちクルーズ参加意向>



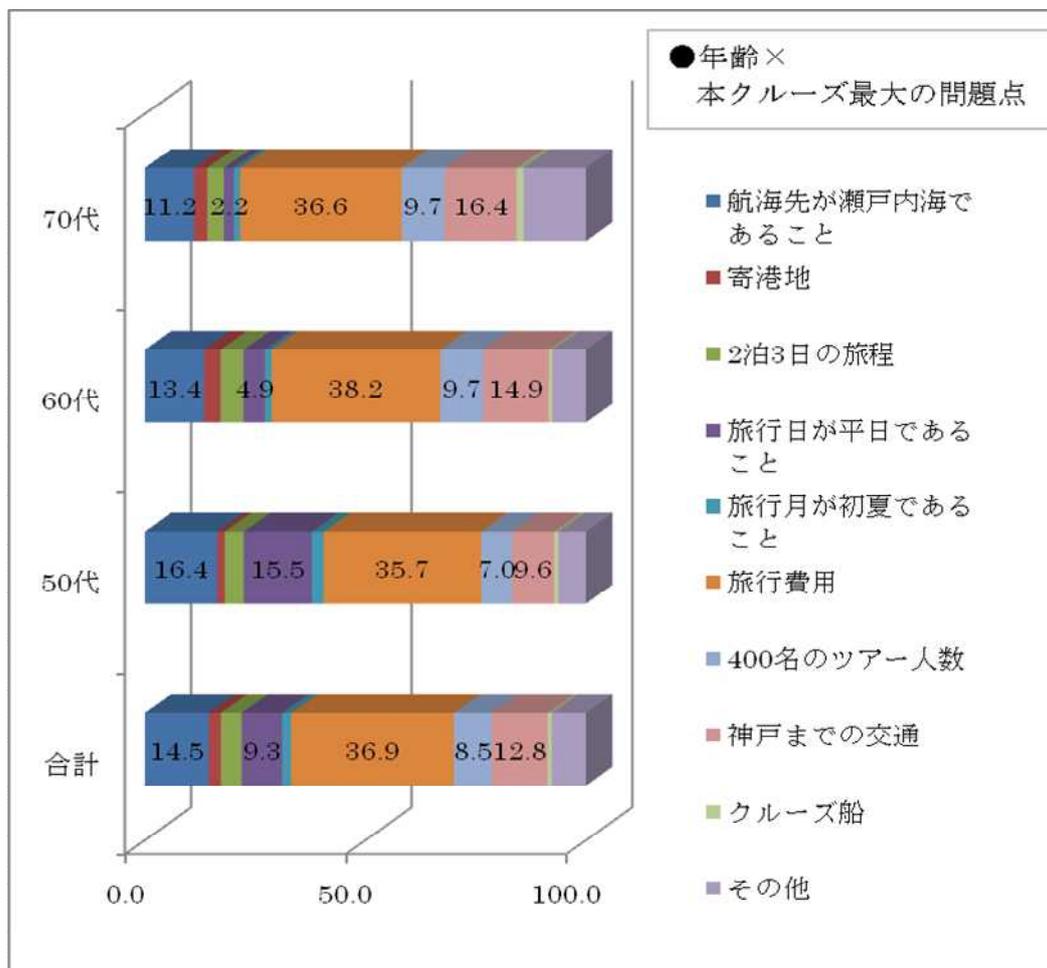
- ・ クルーズ旅行への意向を居住地別に見ると、中部圏、関西圏に比べ首都圏は参加意向が低い。
- ・ 首都圏では「瀬戸内海」の認知度が低いうえ、発着地である神戸までの往復が負担になっているものと見られる。

<年収×せとうちクルーズ参加意向>



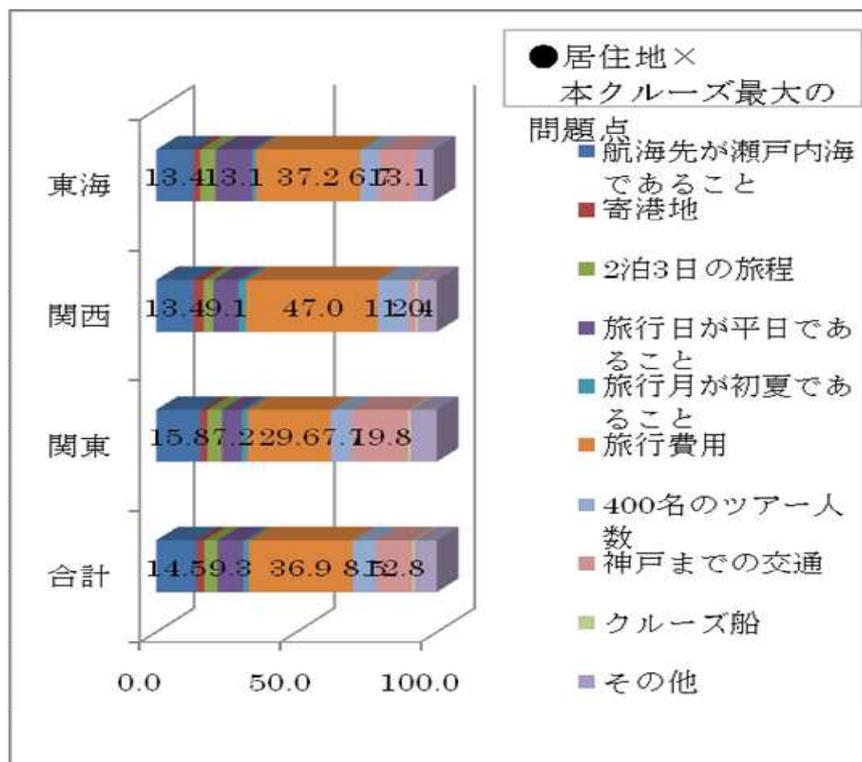
- ・ 年収別の参加意向について見ると、1,000万円以上から300万円以下まで「参加したい」という回答に大きな差はない。
- ・ ただし、「参加したいと思わない」との回答は、年収が下がるほど増加。

<年齢×せとうちクルーズ案の問題点>



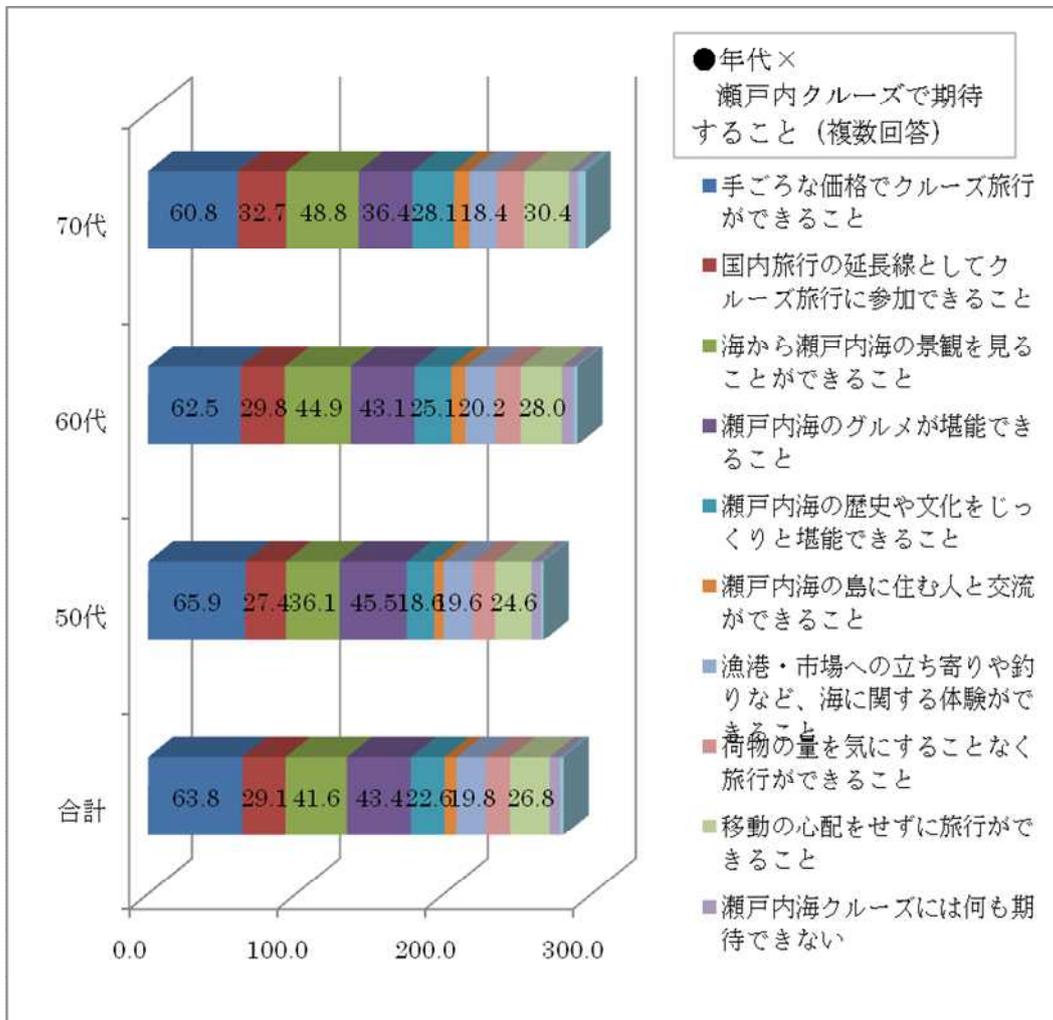
- 年齢別に、せとうちクルーズ案に対する問題点を見ると、年齢が下がるほど「航海先が瀬戸内海であること」、「平日であること」に対する問題意識が増加。
- 一方、「神戸までの交通」に対する問題意識は、年齢が上がるほど増加。
- もっとも、年齢に関わらず最大の問題は「旅行費用」。

<居住地×せとうちクルーズ案の問題点>



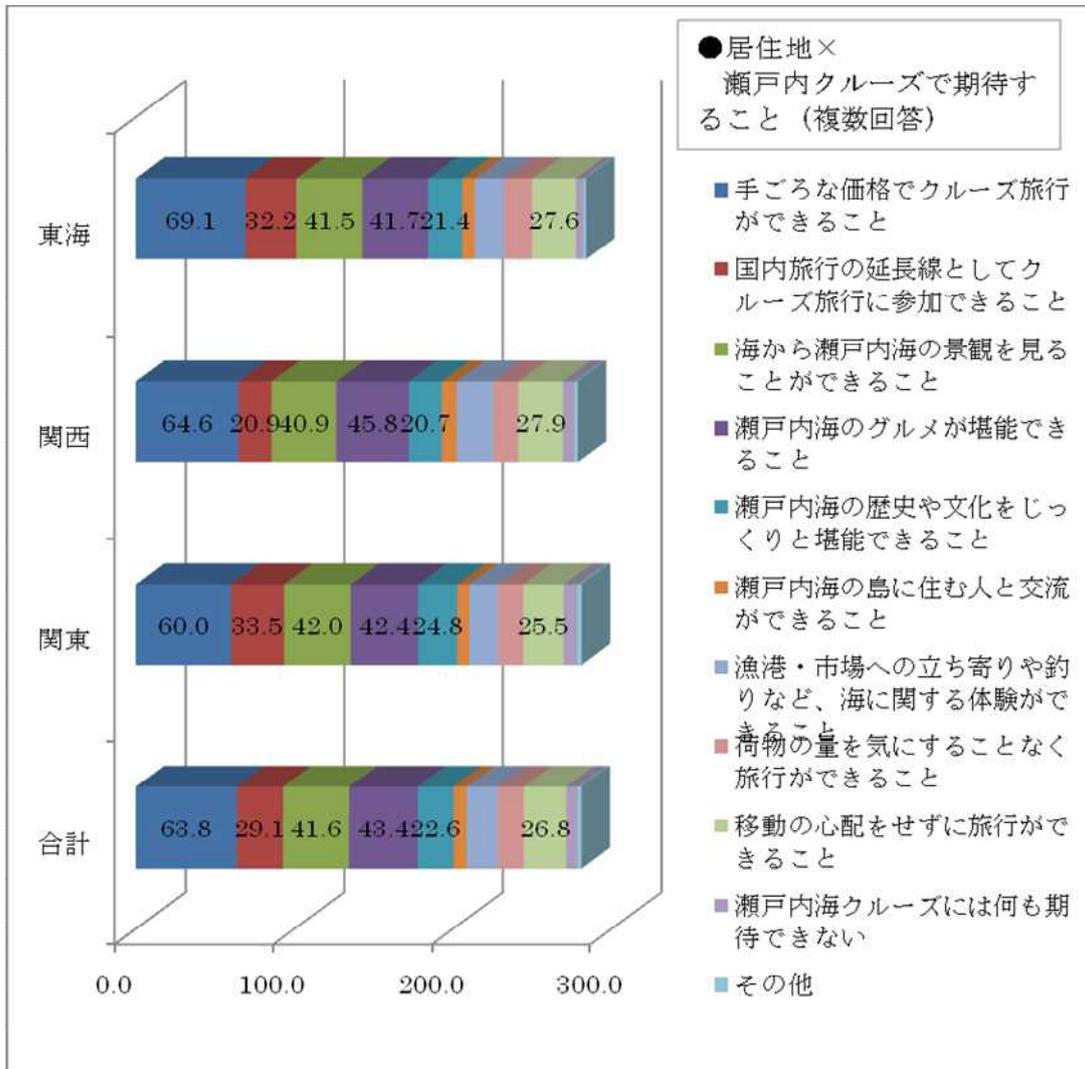
- 居住地別にせとうちクルーズに対する問題点を見ると、首都圏では「神戸までの交通」への問題意識が高いものの、「旅行費用」に対する問題意識は低い。
- 関西圏では、「旅行費用」に対する問題意識が高く、「身近な瀬戸内海」における「手軽なクルーズ」へのニーズが強いものと推測される。

<年代×せとうちクルーズに期待すること>



- ・ 「せとうちクルーズに期待すること」を年代別に聞いてみると、年齢に関わらず「手頃な価格」への期待が一番強い。
- ・ 年齢が上がるほど、「海から瀬戸内海の景観を見られること」、「国内旅行の延長線としてクルーズ旅行に参加できること」、「瀬戸内海の歴史や文化をじっくり堪能できること」などへの期待が高まる。
- ・ 一方、「瀬戸内海のグルメが堪能できること」については、年齢が下がるほど期待が大きくなっている。

<居住地×せとうちクルーズに期待すること>



- 居住地別に「せとうちクルーズに期待すること」を見ると、首都圏と中部圏では「国内旅行の延長線としてクルーズ旅行に参加できること」への期待が大きい。「発着地である神戸まででの往復と、せとうちクルーズを一体で提供して欲しい」というニーズがあるものと思われる。

1-4. 国内クルーズ・マーケットの課題と可能性 —まとめ—

① シニア世代のクルーズ旅行に対する志向は強い

今回のアンケート調査等をみると、50才代以上の「クルーズ旅行」に対する潜在的願望は強いことが伺える。

特に団塊世代は、仕事をしているため時間的余裕の少ない人が多いものの、今の高齢者層よりも「潜在的なクルーズ願望」は強いものと見られる。

② クルーズを敬遠する三大理由は「費用」と「堅苦しさ」、「船酔い」

クルーズ旅行に対する主要な問題意識としては、「費用」や「堅苦しさ」、「船酔い」が挙げられる。

クルーズ旅行は、一見すると「高価」ではあるものの、「移動と宿泊とベッドとエンターテイメント」を全て含む価格としては、決して高価でも贅沢でもない。むしろ、飛行機とホテルを組み合わせた旅行よりも割安なケースも十分にありうる。また、「堅苦しさ」や「船酔い」も誤解・誇張されている面が大きい。

クルーズは「参加してはじめて、素晴らしさが実感できる」旅行と言われており、クルーズへの誤解を解くとともに、身近なクルーズ商品の供給を増やしていくことが、クルーズ需要の拡大には大切と考えられる。

なお、アンケート調査では、首都圏の居住者は「神戸までの交通」を負担に感じるものの「価格」への抵抗感は少ない、関西圏の居住者は「手頃な価格」への要望が強い、との結果が示された。首都圏向けには「やや高価でも、せとうちクルーズを行程の一部に組み込んだ、良質な旅行商品」、関西圏向けには「カジュアルなクルーズ」と、ターゲットする地域によって商品内容を切り替えていくことも検討すべきであろう。

③ せとうちクルーズに対する期待は「費用」と「景観」、「グルメ」が三大要素

年齢や居住地によって濃淡はあるものの、せとうちクルーズでは「費用」と「景観」、「グルメ」に対する期待が大きい。

多島美などの景観は、他地域ではマネの出来ない瀬戸内海独自の観光資源であり、「クルーズ」との親和・相互補完性も高い観光資源と考えられる。「景観」を最大限に活かしつつ、「グルメ」や「歴史・文化」を組み合わせたクルーズ商品の開発が重要となろう。

もともと、旅行の「個人化」が進む中で、消費者の幅広いニーズに対応していく必要がある。クルーズは、船内プログラムや寄港地でのエクスカーションなどに、「エコ」や「ヘルス」、「交流」、「体験」、「癒し」など種々のテーマ性を織り込むことが可能であり、瀬戸内海全体をテーマパークとして「何回参加しても飽きない」商品群を構築できるのではないだろうか。

2. 神戸・瀬戸内海地域の魅力ある観光資源調査

神戸・瀬戸内海地域は、多島美を背景とした独自の自然資源に恵まれると共に、歴史に培われた人文資源が多彩な地域である。また、地域の生活の中には、従来見過ごされていた「瀬戸内らしさ」を色濃く残した潜在的観光資源も多く見受けられ、個人化、シニア化、高度化する国民の旅行志向に強く訴求する可能性を持っている。

ここでは、神戸・瀬戸内海地域の顕在的資源のみならず、潜在的観光資源の抽出を行ない、瀬戸内海クルーズ観光のルート開発における基礎資料とする。

2-1. 観光資源台帳による瀬戸内海の資源

観光旅行の目的となる「観光資源」については、大きく分けて「自然資源」と「人文資源」、「有形資源」と「無形資源」とに分けられ、それぞれの資源が多彩なテーマ性を有している。そして、それぞれの観光資源が持つ「固有性」や「独自性」などには差異があり、観光客を誘引するポテンシャルの強さにつながっている。

これまで我が国の観光資源を横断的に洗い出し、かつその価値を客観的に評価したデータは数少なく、財団法人日本交通公社が保持している「観光資源台帳」が最も体系的である。ここではまず、観光資源台帳で抽出されている瀬戸内海沿岸の観光資源をリストアップした。

資源評価の手法としては、「自然資源」、「人文資源」を類型化し、資源の持つ「誘致力の広さ・大きさ」を評価基準として、特A級からD級まで判定している。本調査ではそのうち地方レベルの広域的誘致力を持つB級以上の資源を抽出した（参考資料1）。

資源評価の手法

資源分類		評価		
自然資源	人文資源	ランク	基準・内容	代表資源名
山岳 高原 湿原 湖沼 峡谷 滝 河川 海岸 岬島 岩石・洞窟 動物 植物 自然現象	史跡 社寺 城跡・城郭 庭園・公園 歴史景観 地域景観 年中行事 建造物 動植物園・ 水族館 博物館・美術館	特A級	わが国を代表する資源で、かつ世界にも誇示しうるもの。わが国のイメージ構成の基調となりうるもの。	富士山 摩周湖 法隆寺 姫路城 祇園祭
		A級	特A級に準じ、その誘致力は全国的で、観光重点地域の原動力として重要な役割をもつもの。	芦ノ湖 天橋立 清水寺 高山の街並み
		B級	地方スケールの誘致力をもち、地方のイメージ構成の基調となりうるもの。	筑波山 浜名湖 高山の朝市
		C級	主として、県民および周辺地域住民の観光利用に供するもの。	身延山 石神井池 広島城跡
		以下D級-	地域住民の利用。	

①観光資源台帳からみた神戸・瀬戸内海地域の観光資源の特徴

前述の観光資源台帳における神戸・瀬戸内海地域の観光資源のうち、全国的に観光客誘致力を持つ特A級、A級資源を示したのが右表である。

神戸・瀬戸内地域の特徴として、歴史的経緯から人文資源に価値の高い資源が多く見受けられるのが特徴であるが、自然資源である「瀬戸内海」全体もA級資源として評価されている。

「瀬戸内海」は一地区や一地域に限られる資源でなく、神戸・瀬戸内海地域そのものである。域内に所在する多くの観光資源と、

「瀬戸内海」が複合して魅力を発揮することで、神戸・瀬戸内海地域の観光資源は、独自の高い価値を持つこととなっている。

以下は、特A級とA級の中でも、特に瀬戸内海の自然、景観、歴史文化などとのつながりが深い資源となる。

神戸・瀬戸内海地域の特A級、A級資源

資源類型	評価	資源名	県
城跡・城郭	特A	姫路城	兵庫
歴史景観	A	神戸北野異人館群	兵庫
建造物	A	中突堤(メリケンパーク)	兵庫
海岸	A	瀬戸内海	
博物館・美術館	A	大原美術館	岡山
歴史景観	A	倉敷美観地区	岡山
庭園・公園	A	後楽園	岡山
年中行事	A	西大寺会陽	岡山
社寺	A	吉備津神社	岡山
建造物	A	閑谷学校跡	岡山
社寺	特A	厳島神社	広島
博物館・美術館	特A	広島平和記念資料館	広島
建造物	A	原爆ドーム	広島
峡谷	A	三段峡	広島
島	A	宮島	広島
岩石・洞窟	特A	秋芳洞・秋吉台	山口
建造物	A	錦帯橋	山口
社寺	A	大山祇神社	愛媛
庭園・公園	A	栗林公園	香川
社寺	A	金刀比羅宮	香川
建造物	A	瀬戸大橋	香川
島	A	小豆島	香川

<神戸メリケンパーク／A級>

「メリケンパーク」は公園施設としてA級評価となっているが、隣接する「ハーバーランド」や「ポートタワー」、「神戸海洋博物館」、「神戸港震災メモリアルパーク」なども含めた中突堤全体を、A級資源としてとらえることができる。

さらに、神戸港自体が、わが国を代表する観光港としての景観、人文的価値を有するとともに、瀬戸内海の玄関口として機能している。



<宮島（A級）、厳島神社（特A級）>

日本三景とも賞される宮島（厳島）と世界遺産である厳島神社は、その歴史的価値だけでなく、瀬戸内海と一体となった景観的価値も含めて、わが国有数の観光資源といえる。

瀬戸内海には、厳島神社ほど有名ではなくとも、同じように海に開かれ、地域の生活や文化形成に大きくかかわってきた社寺仏閣が多くみられる。こうした社寺仏閣も、瀬戸内海の文化をテーマとする旅行においては、意味深い観光資源と捉えられよう。



<大山祇神社（A級）>

愛媛県大三島に海に向かって位置する神社であるが、宝物殿に多くの国宝や重要文化財が所蔵されていることはあまり知られていない。価値の高い甲冑類が数多く所蔵されており、瀬戸内海の水軍の歴史を知る格好の資料である。



<瀬戸大橋（A級）>

1988年に供用された瀬戸大橋は、本州と四国を結ぶ長大橋として様々な先進的建造技術が導入されており、10 kmに及ぶ橋梁景観は、周囲の瀬戸内海が多島景観とのコントラストをもたらしている。瀬戸内海のランドマークのひとつとなっている。



<小豆島（A級）>

瀬戸内海の島々の中で2番目の大きさを持つ小豆島は、「景観」や「産業」、「文化」などの面で、ある意味「瀬戸内海の島の典型」と言うことができる。古くからの歴史的資源が残る一方、戦後は「二十四の瞳」の撮影地となり、瀬戸内海の島の生活が全国に知られる端緒を務めた島である。



2-2. 瀬戸内海らしい観光素材

以上述べてきた財団法人日本交通公社の観光資源台帳による資源評価は、資源単体を客観的・学術的に評価したものであるが、個人個人の志向が多様化している状況下では、実際に旅行者が感じる「地域や観光資源の魅力」の一部を捉えているに過ぎない。

現地を訪問したり、現地の人々と交流したりすることで得られる感動や発見は、旅の大切な魅力のひとつであり、地域の「生活文化」や「歴史風土」なども重要な観光資源と考えられる。

以下では、前述の観光資源台帳の他に瀬戸内海らしさを表す資源や魅力を、

- ① 食文化（素材・各種料理・加工品・菓子・土産物 など）、
- ② 歴史・由来・物語 など、
- ③ 多島美景観、
- ④ 文化景観、
- ⑤ 港湾

の項目に分け洗い出しを行った。

①食文化

「地域の食」は観光旅行の中で重要な素材であり、旅行者が「地域らしさ」を感じる大きな要素である。

神戸・瀬戸内海地域は、瀬戸内海を抱える地域だけに、食材や料理に海産物が多く使われている。瀬戸内海らしい素材としては、「あなご」や「牡蠣」、「たこ」、「さわら」、「ままかりや釘煮などの小魚類」があげられる。

②歴史・由来・物語

瀬戸内海の歴史は万葉集の時代から、「美しい景観」や「源平合戦、水軍といった歴史的史実」などを題材として、文学や歌の題材に多く取り上げられている。

さらに、重要な海上交通路であった瀬戸内海には、昔の風情を残す風待ち・潮待ちの港（街）が点在し、「朝鮮通信使」や「シーボルト」などの足跡を辿ることができる。

③多島美景観・・・2-4. 「海（船）から見た瀬戸内海景観の魅力」で詳述

瀬戸内海の独自性は「多島美景観」にあるとあって良く、環境省資料（「瀬戸内海国立公園HP」自然資源マップ）では、多くのエリアを「多島海」に指定している。こうした景観・風景は、年間の四季あるいは一日の時間の中でも変化するもので、例えば「夕焼けの〇〇島」とか「朝日を浴びた〇〇諸島」といった時間限定の景観も想定し、資源のきめ細かな洗い出し・アピールが必要である。



虫明迫門(瀬戸)の曙(瀬戸内市)

(出所) 瀬戸内・海の路ネットワーク HP

④文化的景観

直接視覚に訴える景観にとどまらず、景観（風景）の意味を広義にとらえると、神戸・瀬戸内海地域には多彩な文化的価値を持つ景観要素が認められる。

<歴史的史実>

源平合戦や朝鮮通信使、村上水軍などは、相応に知られている歴史的史実ではあるが、これらを単なる史実としてだけでなく、「現代の神戸・瀬戸内地域のどこに行けば、史跡や文化的遺産に触れられるか」などを、分かりやすく旅行者に伝えることが求められる。

<文学・芸術作品>

若杉慧「エデンの海」や壺井栄「二十四の瞳」といった文学作品のテーマや背景として、あるいは「瀬戸内少年野球団」など映画のロケ地や歌謡曲の題材として、瀬戸内海の持つ独自の景観・風景は、分野を問わず文学・芸術の中で扱われている。

このことは、時代を問わず瀬戸内海の景観や風景が人々の心の琴線に触れるものであることを示しており、文学・芸術作品を鑑賞した人が改めて瀬戸内海の現地を訪れ、その作品の背景や時代を思い起こすことは、まさに「旅の楽しみ」と言える。

史跡や文化的遺産を伝える地域には、記念碑や歌碑などで伝えるだけではなく、地元ならではのきめ細かい説明や案内が望まれる。

<公的機関選定による神戸・瀬戸内海地域の観光資源>

いくつかの公的機関が、国内の優れた景観要素を選定している。以下では、その中から神戸・瀬戸内海地域の観光資源をピックアップした。

【21世紀に残したい日本の風景100選】

2001年にNHKが全国から公募の形で選定したもので、神戸・瀬戸内海地域では、

- 「瀬戸内海」、
- 「しまなみ海道」、
- 「関門海峡」、
- 「明石海峡大橋」、
- 「瀬戸大橋」

の5つの資源が選定されている。

ここでも「瀬戸内海」は、他の選定された資源に比べて広範な地域で捉えられており、「瀬戸内海」をさらに掘り下げて考えれば、多様かつ多くの観光資源が神戸・瀬戸内海地域には点在していることになる。

【日本の渚 100 選】

1996年に当時の運輸省の指導下、「日本の渚・中央委員会」が選定したもので、神戸・瀬戸内海地域では、

渋川海岸（岡山県）、
沙美海岸（岡山県）、
県民の浜（広島県）、
桂浜（広島県）、
虹ヶ浜海岸（山口県）、
津田の松原（香川県）、
満濃池（香川県）、
有明海岸（香川県）、
桜井海岸（愛媛県）、

の9カ所が選定されている。埋め立て等により、瀬戸内海沿岸で「砂浜」は限られているため、こうした渚・海岸は貴重な景観・風景であると思われる。

なお、「社団法人日本の松の緑を守る会」の「日本の白砂青松 100 選」（1987年）でも、概ね同じ海岸が、神戸・瀬戸内海地域で選定されている。

【日本の音風景 100 選】

「風景」の概念を広く捉えた選定として注目される。神戸・瀬戸内海地域では、

「灘のけんか祭りのだんじり太鼓」（兵庫県姫路市）、
「垂水漁港のイカナゴ漁」（兵庫県神戸市）、
「広島の平和の鐘」（広島県広島市）、
「鳴門の渦潮」（徳島県鳴門市）、
「千光寺驚音楼の鐘」（広島県尾道市）、
「大窪寺の鐘とお遍路さんの鈴」、
「満濃池のゆるぬきとせせらぎ」（香川県満濃町）、
「道後温泉振鷺閣の刻太鼓」（愛媛県松山市）、
「関門海峡の潮騒と汽笛」（福岡県北九州市／山口県下関市）、

の9案件が選定されている。

これらは、地域の文化や生活に根付いた音や、自然資源を背景にした音を含んだ「瀬戸内海らしさを表す音」と言える。

こうした選定は「音風景」だけでなく、「香り風景」といった切り口でも可能であり、視覚以外の五感を通じた瀬戸内海を感じ方や伝わり方を景観・風景の一種と捉えることができる。さらに、視覚的景観と音風景など、複数の感覚で瀬戸内海らしさが伝わることで、その景観・風景の魅力は一層鮮烈なものとなるのではないだろうか。

<産業景観>

近年、「産業景観」が注目されつつある。島嶼沿岸部の限られた土地を有効に活用した「棚田」や「瀬戸内海ならではの漁法」なども、すべてを観光客に解放するわけにはいかないものの、地域らしさを感じさせる要素として注目される。

<みなとオアシス>

「みなとオアシス」とは国土交通省が認定し、市町村や港湾管理者・NPO 法人などによる「みなとづくり」と「まちづくり」を連携させて、「みなとまちづくり」を目指すもので、神戸・瀬戸内海地域においては6カ所が認定されている。

新たな交流の拠点として、「みなとまち」が地域の立場から再認識されることにて、瀬戸内海の「港街」の魅力が向上するものと期待される。

「みなとオアシス瀬戸田」



瀬戸田町は、古くから交易の拠点として栄え、戦後はみかん・造船・観光の町として発展しました。瀬戸田港は、新幹線駅に近い三原港から高速船で約25分と交通の便がよく、海の玄関口として町の発展を支えています。

瀬戸田港「みなとオアシス」のイメージは、港内のターミナルビル周辺を、観光・地域情報やレンタサイクルなどの交通サービスを提供し、訪れる人が町を探索する際の拠点とします。さらに、港から続く商店街と一体となって、周辺でのフリーマーケット開催や臨時クルーズ船の運航、プレジャーボートの係留などで賑わいを創ります。

神戸・瀬戸内海地域の観光資源一覧



■掲載した観光資源について

□参考にした資料

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会が運営している、「海の路(www.uminet.jp)」
 瀬戸内海国立公園HP(環境省自然環境局)http://www.sizenken.biodic.go.jp/park/cgi-bin/page_np.cgi?park=setonaikai等

□掲載地域

瀬戸内海に面する3地区(近畿地方・中国地方・四国地方)を対象とした。

□掲載資源

従来の一般的観光資源に加え、瀬戸内海らしい食文化、歴史、港、民話、釣り、多島美景観等に関する資源を掲載し、観光資源評価台帳と重複する史跡などは掲載していない。

観光資源の分類

		特に瀬戸内海らしい資源	
自然資源	人文資源Ⅰ	人文資源Ⅱ*2	
山岳	史跡	近代構築物*3	
高原	宗教資源*1	近代景観*4	
野原	城跡・城郭	近代橋	
湿原	庭園・公園	近代公園	
湖沼	歴史景観	観覧施設*5	
峡谷	地域景観		
滝	年中行事	その他(生活・民俗・芸能・技術・イベント・食文化等)	
河川	歴史的建造物		
海岸	碑・像		
岬	*1:社寺・教会等		
島嶼	*2:人文資源Ⅱは昭和以降		
岩石・洞窟	*3:建造物、単体施設、その他建造物		
動物	*4:都市景観、産業景観等		
植物	*5:動・植物園、博物館、テーマパーク等		
自然現象			
その他			

観光資源	兵庫	岡山	広島
食文化	<p>アナゴ丼(姫路市) 播磨灘から取れたアナゴは魚介類の中でも特に名物</p> <p>明石焼(明石市)</p> 	<p>お宝☆たまの弁当(玉野市) 「玉野市特産品弁当コンテスト」を開催し、一般から応募を受け付け、受賞したレシピを基に商品化を図ったもの。ママカリ、サワラなど玉野市を代表する食材を使用した季節感あふれる弁当。</p> 	<p>でべら(尾道市) 江戸時代初期から作られており、天日干してある光景は冬の尾道の風物詩である</p>  <p>広島菜漬(広島市) 白菜状の「平菜」と言うやや硬い幅広い菜漬。菌床しいたげ・ひらたけ、いりこ(大竹市)</p>
特産品	<p>神戸牛(神戸市)</p> 	<p>オリーブ(瀬戸内市) モクセイ科の常緑樹で生命力が強く、樹齢が長いのが特徴。瀬戸内海の温暖な気候が生育に適しており、香川県小豆島と岡山県牛窓町が二産地として知られている。</p> <p>なすのからし漬けなどのなす料理、蒲鉾(玉野市) 岡山を代表するブランド野菜「千両なす」。冬春なす主産県協議会が茄子を題材にして食育活動を実施。 http://home.oy.zennoh.or.jp/nasu/index.htm〔全農おかやま〕</p> 	
海鮮料理		<p>めばる刺身(玉野市)</p> <p>タコの刺身(倉敷市) 社鱧(瀬戸内市) 漁師鍋(玉野市)</p>	<p>社鱧(宮島市・大竹市) 正面は太田川から、左右は宮島の原生林から海に流れ出した栄養素が育てた植物プランクトンが豊富で正面からの流水と左右からの海流がぶつかり合う絶妙な海域で育ったものだけを純宮島産『宮島かき』と呼ぶ。『宮島かき』は香り、味、歯ごたえとも極上で、磯の風味とミネラルをたっぷり含み、口にした瞬間に特有の旨みが広がります。http://www.xn--u8je7244arc.jp/kaki/〔宮島かき.jp-有限会社 マルモト水産〕</p> <p>養殖魚の刺身(大竹市) 社鱧の大手鍋(広島市・大竹市)</p>
鍋料理	<p>でんずけ鍋(姫路市)</p>	<p>メバルのから揚げ(玉野市) 社鱧の揚げ物(瀬戸内市)</p>	<p>煮ごめ(広島市) 煮ごめは本来は精進料理の1つで、以前はどこの家庭でも冬になると作られていた。健康的で、食べると身体の心までぬくもる料理。 http://www.akitakata.jp/site/page/machi/activity/sakaue/katudou4/nigomedukuri/〔安芸高田市〕</p>  <p>社鱧フライ・酢社鱧・殻つき社鱧の焼き物・干し社鱧(大竹市) アナゴの蒲焼き・アナゴの蒲焼き・社鱧の殻焼き(宮島町) あなごめし(宮島町) でべらの茶漬(尾崎町)</p>
煮・焼き物	<p>焼きあなご・タケノコの煮物・揚げ物(姫路市) いかなごぎ煮(神戸市)</p> 		
お寿司・ご飯もの	<p>アナゴ丼(でんずけ丼)・タケノコ寿司(姫路市) 細かく切った穴子をごはんまぶしたどんぶりです。「伝助」とは真穴子の雌を指します。http://www.shunsai-miyabi.com/lunch.htm〔姫路・網干の和食 旬彩みやび〕</p> 	<p>タコめし(倉敷市)</p>	
お菓子・お土産	<p>神戸スイーツ(神戸市)</p> 	<p>干しタコ(倉敷市) 瀬戸内海の中でも特に潮流の速い倉敷市下津井沖で育ったタコは、身が引き締まっており独特の歯ごたえといわれています。 http://www.city.kurashiki.okayama.jp/kankou/syoku/index.html</p>	<p>ふなやき(尾道) 小麦粉で作った和風ホットケーキで、那賀地方などの地域でも作りました。なべいっぱい生地を流して焼くのが特徴で、切り分けて食べます。 http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/130200/03/fukyu/tokusan/ryori.html</p> <p>もみじまんじゅう(宮島) 広島の果花・具木はもみじです。そのもみじの形をしたカステラ饅頭です。北海道産小豆のこしあん、良質のお水を使用し、低甘味であっさりした素材な味は、どなたにも喜ばれています。広島県の代表みやげとして全国的にも有名です。 http://www.nisikido.co.jp/top.html</p> <p>マロンソフト・せんべい・田作り(大竹市)</p>
歴史			<p>村上水軍の墓 瀬戸内海における海賊お出沒が盛んになるのは、平安時代初期から。室町時代には伊予衆の中から村上氏が頭角を現して海の関所を設けては往來の船舶から通行料を取り立てるようになった。</p> 
港オアシス			<p>瀬戸田港(尾道市) 港から続く商店街と一体となって、周辺でのフリーマーケット開催や臨時クルーズ船の運航、プレジャーボートの係留などで賑わいを創る</p> 
民話・体験		<p>ちようどよい名前(備前市)</p>	<p>黄幡さんの大蛇</p>
釣り	<p>遊漁センター 地小赤壁を望む位置にあるつり公園</p>  <p>魚つり公園 身近に海に接しながら魚つりを楽しむことができる施設</p> <p>鳴尾浜臨海公園(南地区) イワン、サバ、アジ、イカ、サヨリ、タチウオ、ボラ、カレイ、スズキ等が釣れ、四季折々の多彩な釣りが楽しめる。</p> <p>南あわじ市丸山海釣り公園 丸山漁港に浮かぶ周囲250mの弁天島を釣り場としている。大鳴門橋を眼下に太公望の気分を満喫できる。</p>		
景観・風景 多島海景観	<p>家島諸島 明石海峡と明石大橋</p>	<p>鹿久居島諸島 前島～犬島 渋川海岸 瀬戸大橋 水島灘</p>	<p>広島湾(江田島、倉橋島など) 音戸瀬戸 しまなみ海道一帯 大崎上島</p>
特定重要港湾	神戸港、姫路港	水島港	広島港
重要港湾	尾崎西宮戸屋港、東播磨港、赤穂港	岡山港、宇野港	呉港、尾道糸崎港
歴史的な港町			御手洗

観光資源	山口	大分（別府）	香川
食文化 郷土料理	郷土料理コース(光市) 豊富な食材の中で、「セグロ鯛」「ハモ」「梅」を活用して「ふるさと光の郷土料理」を提供。 販売店では、それぞれの料理人の工夫によって、様々な郷土料理が堪能できる。	城下カレイ 日出町、賜谷城の下の海中に清水が湧くところがあり、そこで繁殖する。 □江戸時代將軍への献上品とされていたほどの美味で、昔は武士階級しか食べることが出来ず珍重されていました。	さぬきうどん(高松市) 全国的に有名。家ごとに引き継がれている味がある。
特産品	梅(光市) 上記郷土料理コース参照  甘露しょうゆ(岩国市) 岩国藩主、吉川公に「甘露醤油」を献上していた「高田伝兵衛」より、「重枝家」に製法が伝授され、今に伝えられるお醤油。 http://www.y-yokocho.com/item-33000901.html [山口買い物横丁] 	竹細工 竹細工は古くから、温泉地別府を訪れた湯治客が滞在中に台所用品として使用し、土産品として販売されるようになり、それとともに市場が拡大しました 	三益糖(高松市) 讃岐の砂糖は、かつては讃岐三白のひとつに数えられていたもので、なかでも上質の砂糖(三益糖)は酒搾りの方法を応用して製造に成功した純国内産の白砂糖です。 (http://www.kagawaproducts.or.jp/syoukai/05_kashi.shtml)
海鮮料理	地魚の刺身・セグロイワシの刺身(光市) 鳴門海峡は世界でも有数の豊かな漁場として名を馳せている。全国的な知名度を誇るのが鳴門鯛は、新鮮なものは超高値で取り引きされるため、四国における高級魚の代名詞になっている。 http://www.tabite.net/shikoku/report/umigohan/19.htm [ぐるなびトラベル] 	ふぐ料理 	
鍋料理	笠戸ひらめの姿づくり(下松市) ハモしゃぶ・ハモの湯引き(光市)	ざる汁 塩を入れた小麦粉を練り上げ薄く延ばしただんごを、食材のたくさん入った味噌汁立ての汁に入れて食べる料理 	どじょう汁(さぬき市) さぬきのどじょう汁は、打ち込みうどんにどじょうが入っている郷土料理である。各地域で色々な共同作業や寄り合い毎に申し合わせたようにどじょう汁をたく。 (http://www.seifun.or.jp/chiiki/2006_09.html)
煮・焼き物	ハモの天ぷら・セグロイワシのさんしょう煮・天ぷら(光市) 笠戸ひらめの焼き物・煮物唐揚げ・酢の物(下松市)	地獄釜料理 温泉の噴気を利用して海、山の幸を蒸し上げて食べる別府独特の料理方法で高温の蒸気で一気に蒸し上げるため食べ物の素材本来の味が引き出され美味しく食べることができる 	
お寿司・ご飯もの	磐国寿司・茶粥(岩国市) 材料を何層にも重ね、押し寿司風に仕上げる。 		カンカン寿司(さぬき市) ふるさとの家庭料理として代々引き継がれてきたのが、瀬戸内海で獲れるサワラの押抜き寿司の「カンカン寿司」。素朴でぬくもりあふれる郷土料理のひとつです。 (http://www.sanuki.ne.jp/sightseeing/omiyage/index.html)
お菓子・お土産	梅しらうおぞうすい(光市) 壇ノ浦の源平船合戦	ざぼん漬け ミカン類の中では最も大きな実をつけるざぼんの皮を茹で、流水でさらした後に砂糖、水飴で煮たもの 	
歴史	保元の乱(1156)以後、平氏が源氏にかわって瀬戸内海の治安を取り締まるようになり、平家は隆盛を極めた。しかし、平清盛が後白河法皇と対立、法皇を幽閉したのをきっかけに平氏を倒す動きが起り、治承4年(1180)源頼朝、木曾義仲が挙兵。源平合戦がはじまった。 		
港オアシス	由宇港(岩国市) 特産品の販売施設、ミクロ生物館、ふれあい交流・体験型学習施設がある 		北浦港(土庄町) かつては石材業を基幹産業とし、徳川幕府による大坂城改修の際、この地域から多数の石が切り出された。北浦港には搬出されることの無かった石(残念石)が数多く残る。
民話・体験		別府オンパク https://www.onpaku.jp/com/modules/order05/ 	
釣り	フィッシングパーク光 瀬戸内海国立公園象鼻ヶ岬の外海に面しており、天然の好漁場に加え、漁礁の設置や稚魚の放流等により豊富な魚種・魚数を誇る。 		
景観・風景	屋代島 周南～光沿岸 関門海峡 ※環境省自然環境局資料より抜粋(http://www.sizenken.biodic.go.jp/park/cgi-bin/page_np.cgi?park=setonaikai)		瀬戸大橋と周辺諸島 塩飽諸島 詫間湾 備讃諸島(直島諸島) 小豆島
特定重要港湾	下関港、徳山下松港	橋港、徳島小松港	高松港、坂出港
重要港湾	岩国港、三田尻中関港、宇部港、小野田港		引田
歴史的な港町			

＜神戸・瀬戸内海地域全体にまたがる観光資源＞

観光資源	愛媛	歴史的史実	文学・芸術作品	21世紀に残したい日本の風景100選 (NHK)
食文化				
郷土料理		瀬平谷鮓 (一ノ谷、屋島、壇ノ浦) 朝鮮通信使 (1607～1811) オランダ人江戸参府 etc.	若杉意「エデンの海」 壺井栄「二十四の瞳」 夏目漱石「坊ちゃん」 志賀直哉「暗夜行路」 林芙美子「放浪記」 阿久悠「瀬戸内少年野球団」 木下忠司「喜びも悲しみも幾歳月」 山上路夫「瀬戸の花嫁」 平山郁夫「晩秋の倉敷」「瀬戸田向上寺」など	瀬戸内海 しまなみ海道 関門海峡 明石海峡大橋 瀬戸大橋
特産品	やまかけ(四国中央市) 山の芋は、粘りが強く、味も良いので「とろろ汁」や「やまかけ」など、おろして食べる方法が適している。消化のよい栄養価の高い滋養食品として評価され、老人や虚弱体質の人に、漢方薬などに配合されている。http://sct.shikokuchuo.jp/~kik/uji.htm [四国中央市HP]	日本の清100選 (日本の清・中央委員会)	白砂青松100選 (社)日本の松の緑を守る会	日本の音風景100選 探検者
海鮮料理	河豚(ふく)さく(新居浜市) 河豚の皮を使った料理。歯ごたえの良さが人気。もみじおろし、たっぷりのネギを薬味にこぼし酢でいただく。 http://www.pref.ehime.jp/izanai/dateFiles/azi/d_azi_t3.html [愛媛県観光協会]	淡川海岸(岡山県) 沙美海岸(岡山県) 奥良の浜(広島県) 桂浜(広島県) 虹ヶ浜海岸(山口県) 津田の松原(香川県) 満濃池(香川県) 有明海岸(香川県) 桜井海岸(愛媛県)	包ヶ浦海岸(広島県) 虹ヶ浜 白鳥神社松原(香川県) 津田の松原 観音寺松原(香川県) 志島ヶ原海岸(愛媛県)	「瀬のけんが祭りのたんじり太鼓」(兵庫県姫路市) 「垂水漁港のイカナゴ漁」(兵庫県神戸市) 「広島市の鐘」(広島県広島市) 「鳴門の渦潮」(徳島県鳴門市) 「千光寺音樓の鐘」(広島県尾道市) 「大窪寺の鐘とお遍路さんの鈴」(香川県 満濃町) 「道後温泉振鷺閣の刻太鼓」(愛媛県松山市) 「関門海峡の潮騒と汽笛」(福岡県北九州市/山口県下関市)
海鮮料理	河豚(ふく)さく(新居浜市) 河豚の皮を使った料理。歯ごたえの良さが人気。もみじおろし、たっぷりのネギを薬味にこぼし酢でいただく。 http://www.pref.ehime.jp/izanai/dateFiles/azi/d_azi_t3.html [愛媛県観光協会]			
鍋料理	地魚の刺身(今治市) 水軍鍋(今治市) 瀬戸の島々に浮かぶ芸予諸島で活躍した伊予水軍が、瀬戸内の新鮮な魚介類を使って船上で料理していたものをイメージして作られた大胆で男性的な鍋料理である。 (http://www.pref.ehime.jp/izanai/dateFiles/azi/d_azi_t3.html) [愛媛県観光協会]			
煮・焼き物	法衆焼き 素焼きの法衆の上に小石を並べ、その上に新鮮な魚介類を盛って焼く海鮮料理。石が余分な水分を吸収してほっくりと焼きあがる。 (http://www.pref.ehime.jp/izanai/dateFiles/azi/d_azi_t3.html) [愛媛県観光協会]			
煮・焼き物	せんざんき(今治市) 今治の焼き鳥は鉄板で焼くのが特徴であり、人口密度に対する焼き鳥屋の軒数が日本一となっている。また、「せんざんき」と呼ばれている唐揚げは、中が柔らかくジューシーな味わいが人気となっている。 (http://www.pref.ehime.jp/izanai/dateFiles/azi/d_azi_t3.html) [愛媛県観光協会]			
お寿司・ご飯もの				
お菓子・お土産				
歴史				
港オアシス	八幡浜港(今治市) 「やわはま海鮮朝市」魚介類が浜値で安く買うことができる/誰でも参加できる「ミニせり」などのイベントが開催。毎回5000人を超える人々が賑わっている。毎月第2日曜日に開催 伯方港(松山市) 「愛の地産地消レストラン」(毎月第4土曜・日曜日営業)、はまほろ市」では、郷土芸能が披露され、鯛釣りイベントも行われる(年1回)			
民話・体験				
釣り				
景観・風景	佐田岬の海岸崖 来島海峡 しまなみ海道一帯 釣島水道 ※環境省自然環境局資料より抜粋 (http://www.sizenken.biodic.go.jp/park/cgi-bin/page_np.cgi?park=setonaikai)			
特定重要港湾				
重要港湾	今治港、松山港、宇部島港、東予港、新居浜港、三島川之江港			
歴史的な港町				

	歴史的史実	文学・芸術作品	21世紀に残したい日本の風景100選 (NHK)
文化景観	源平合戦 (一ノ谷、屋島、壇ノ浦) 朝鮮通信使 (1607~1811) オランダ人江戸参府 etc.	若杉慧「エデンの海」 壺井栄「二十四の瞳」 夏目漱石「坊ちゃん」 志賀直哉「暗夜行路」 林芙美子「放浪記」 阿久悠「瀬戸内少年野球団」 木下忠司「喜びも悲しみも幾歳月」 山上路夫「瀬戸の花嫁」 平山郁夫「晩秋の倉敷」「瀬戸田向上寺」など	瀬戸内海 しまなみ海道 関門海峡 明石海峡大橋 瀬戸大橋
	日本の渚100選 (日本の渚・中央委員会)	白砂青松100選 (社)日本の松の緑を守る会	日本の音風景100選 環境省
	渋川海岸(岡山県) 沙美海岸(岡山県) 県民の浜(広島県) 桂浜(広島県) 虹ヶ浜海岸(山口県) 津田の松原(香川県) 満濃池(香川県) 有明海岸(香川県) 桜井海岸(愛媛県)	渋川海岸 桂浜 包ヶ浦海岸(広島県) 虹ヶ浜 白鳥神社松原(香川県) 津田の松原 観音寺松原(香川県) 志島ヶ原海岸(愛媛県)	「灘のけんか祭りのだんじり太鼓」 (兵庫県姫路市) 「垂水漁港のイカナゴ漁」(兵庫県神戸市) 「広島市の平和の鐘」(広島県広島市) 「鳴門の渦潮」(徳島県鳴門市) 「千光寺驚音楼の鐘」(広島県尾道市) 「大窪寺の鐘とお遍路さんの鈴」 「満濃池のゆるめぎとせせらぎ」(香川県満濃町) 「道後温泉振鷺閣の刻太鼓」(愛媛県松山市) 「関門海峡の潮騒と汽笛」(福岡県北九州市/山口県下関市)
その他 「牛窓の段々畑」 「干拓水田、四つ手網の児島湾」 「名取の石垣風景」			
瀬戸内海全域の歴史 ※出典を明記していないものは、海の路HPより抜粋。	万葉集		
	瀬戸内海には万葉集に詠まれた美しい風景も多く存在している。港周辺に建てられている万葉の歌碑は、かつて往来していた万葉人を彷彿とさせる。 【山部赤人(和歌山下津港)、柿本人麻呂(丸亀港)、人麻呂碑(坂出港)、大伴旅人(福山港)】		
	産業技術・文化の伝搬		
瀬戸内海を介した交易活動の中で、各地域の文化や農漁業を中心とした産業技術が瀬戸内海各地域の間で伝播・拡散し、その後の産業の発展や産地の形成につながった。主なものは、「関サバ」の一本釣り漁法、郷土料理「日向めし」など。			
朝鮮通信使			
朝鮮通信使の往来を通じて、各地に行事や文化遺産が残された。代表例は、岡山県牛窓町に残る「唐子踊り」、広島県福山市鞆の福禅寺など。			

2-3. 港周辺の観光資源分布

本節では、神戸・瀬戸内海地域の数多くの港の中から、(指定) 特定重要港湾及び観光面で注目される一部港湾について、周辺の観光資源・要素を整理・抽出した。

もちろん、ここで取り上げた港湾以外にも、神戸・瀬戸内海地域で海から訪れたい港湾は沢山ある。特に島嶼部の小さな港には「瀬戸内海らしい風情」が色濃く残っており、港や街、島そのものが素晴らしい観光資源であると考えられる。

対象港湾

港湾名	県	市	種別
神戸港	兵庫県	神戸市	指定特定重要港湾
姫路港	兵庫県	姫路市	特定重要港湾
水島港	岡山県	倉敷市	特定重要港湾
広島港	広島県	広島市	特定重要港湾
下関港	山口県	下関市	特定重要港湾
高松港	香川県	高松市	特定重要港湾
松山港	愛媛県	松山市	特定重要港湾
宇野港	岡山県	玉野市	重要港湾
別府港	大分県	別府市	重要港湾
瀬戸田港	広島県	尾道市	
宮浦港(直島)	香川県	直島町	

【1】

神戸港（兵庫県神戸市）

指定特定重要港湾

【神戸港周辺観光資源】



※ 円は対象港から直線距離で20km圏を示す



神戸港

出所：http://www.city.kobe.jp/cityoffice/39/port/kankou/kyakusen/terminal/index.html

【凡例】

- 島・海岸・山岳・温泉・岩石・洞窟・植物
- 社寺
- ▲ 城跡・城郭・史跡・歴史景観
- ◆ 建造物・庭園・公園
- ▼ 地域景観
- ◆ 年中行事・体験学習

【神戸港周辺観光資源一覧】

No	種別名称	資源評価	資源名称	市町村
1	建造物	A	明石海峡大橋	
2	歴史景観	A	神戸北野異人館群	神戸市
3	建造物	A	メリケンパーク	神戸市
4	地域景観	B	神戸ハーバーランド	神戸市
5	史跡	B	楠木正成墓碑	神戸市
6	社寺	B	太山寺	神戸市
7	岩石・洞窟	B	蓬来峡	西宮市
8	山岳	B	六甲山	神戸市・芦屋市・西宮市
9	温泉		有馬温泉	神戸市
10	地域景観		六甲山・摩耶山の三大夜景	神戸市
11	体験学習		震災メモリアルパーク	神戸市
12	博物館・美術館		酒蔵めぐり	神戸市

※資源評価が空欄の資源は「観光資源評価台帳」に記載されていない資源

<食文化>

食文化	名称	市町村
特産品	神戸牛	神戸市
煮・焼き物	いかなごぐぎ煮	神戸市
菓子・土産	神戸スイーツ	神戸市



明石海峡大橋

出所：http://mari.cocolog-nifty.com/mari/2006/11/post_93ca.html



神戸北野異人館群

出所：<http://www.flickr.com/photos/35688870@N00/295294374/>

【2】 姫路港（兵庫県姫路市）

特定重要港湾

【姫路港周辺観光資源】



※ 円は対象港から直線距離で20km 圏を示す



姫路港

出所： <http://www.shikamakaiun.co.jp/ne47.htm>

【凡例】

- 島・海岸・山岳・温泉・岩石・洞窟・植物
- 社寺
- ▲ 城跡・城郭・史跡・歴史景観
- ◆ 建造物・庭園・公園
- ◆ 年中行事・体験学習

【姫路港周辺観光資源一覧】

No	種別名称	資源評価	資源名称	市町村
1	城跡・城郭	特A	姫路城	姫路市
2	社寺	B	書写山園教寺	姫路市
3	社寺	B	鶴林寺	加古川市
4	社寺	B	一乗寺	加西市
5	島	B	家島諸島	家島町
6	海岸	B	室津海岸	御津町
7	植物	B	生島の樹林	赤穂市
8	年中行事	B	妻鹿けんか祭り	姫路市

※資源評価が空欄の資源は「観光資源評価台帳」に記載されていない資源

<食文化>

食文化	名称	市町村
寿司・ご飯	アナゴ丼（でんすけ丼）	姫路市
	タケノコ寿司	姫路市
鍋料理	でんすけ鍋	姫路市
煮・焼き物	焼きあなご	姫路市
	タケノコの煮物・揚げ物	姫路市



姫路城

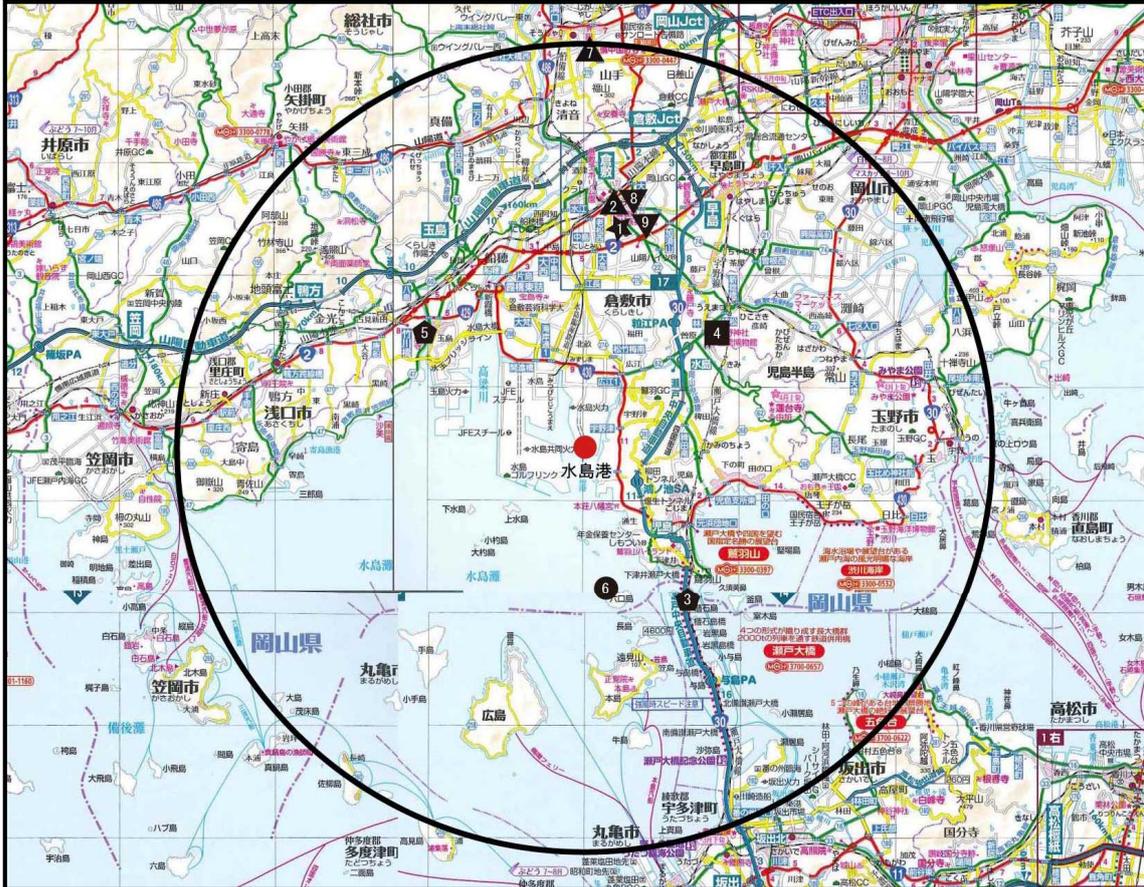
出所： <http://kazujii.fc2web.com/trip/himejijo.htm>



家島諸島

出所： <http://www.otomiya.com/fishing/guide/guide14.html>

【水島港周辺観光資源】



※ 円は対象港から直線距離で20km圏を示す



水島港

出所：http://www.pref.okayama.jp/doboku/kowan/kowan_choki.htm

【凡例】

- 島・海岸・山岳・温泉・岩石・洞窟・植物
- 社寺
- ▲ 城跡・城郭・史跡・歴史景観
- ★ 博物館・美術館
- ◆ 建造物・庭園・公園
- ▼ 地域景観

【水島港周辺観光資源一覧】

No	種別名称	資源評価	資源名称	市町村
1	博物館・美術館	A	大原美術館	倉敷市
2	歴史景観	A	倉敷美観地区	倉敷市
3	建造物	A	瀬戸大橋	倉敷市・宇多津町・坂出市
4	社寺	B	熊野神社	倉敷市
5	庭園・公園	B	円通寺庭園	倉敷市
6	岩石・洞窟	B	象岩	倉敷市
7	史跡	B	吉備風土記の丘	岡山市・総社市
8	地域景観		くらしき朝市	倉敷市
9	地域景観		古民家	倉敷市

※資源評価が空欄の資源は「観光資源評価台帳」に記載されていない資源

<食文化>

食文化	名称	市町村
海鮮料理	タコの刺身	倉敷市
寿司・ご飯	タコめし	倉敷市
菓子・土産	干しタコ	倉敷市



倉敷美観地区

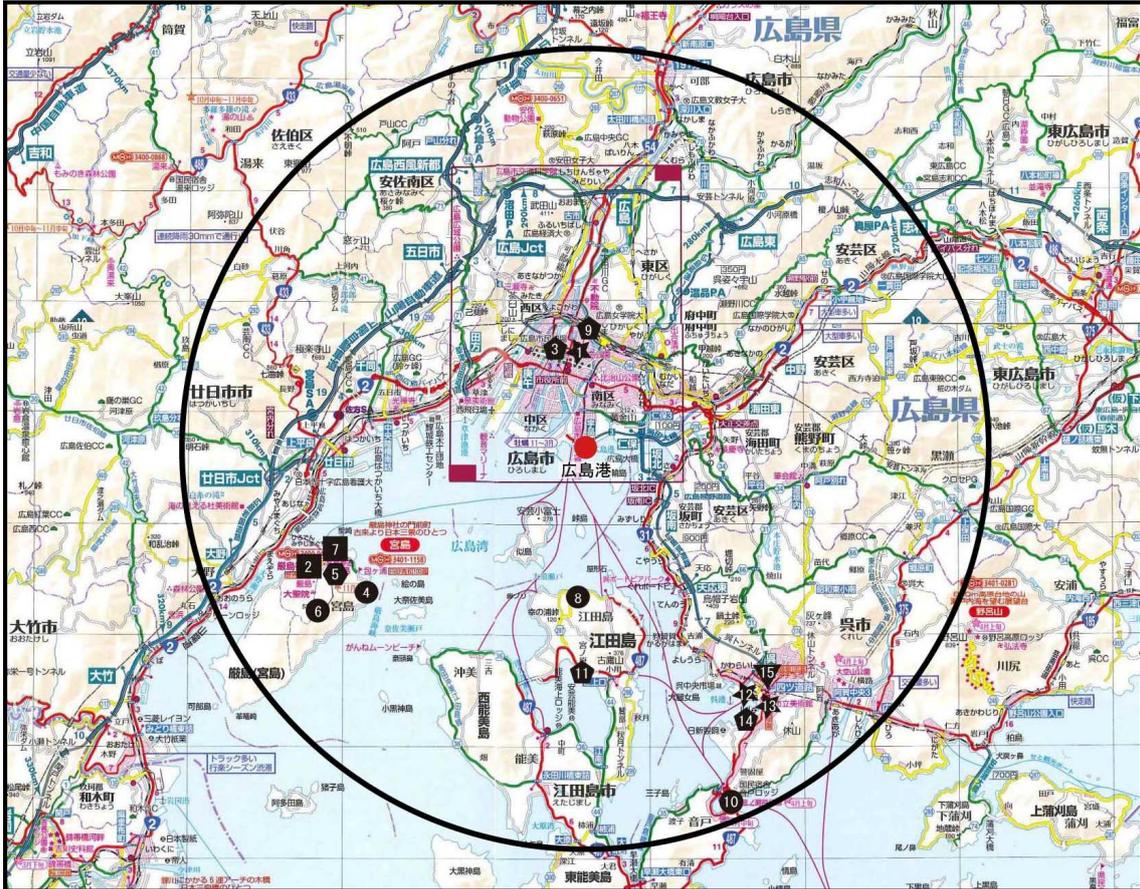
出所：<http://www.flickr.com/photos/boonpin/22610418/>



大原美術館

出所：<http://travel.biglobe.ne.jp/guide/spot/33000381.html>

【広島港周辺観光資源】



※ 円は対象港から直線距離で20km圏を示す



広島港

出所：http://www.tptc.or.jp/kensetsu/koiki.htm

【凡例】

- 島・海岸・山岳・温泉・岩石・洞窟・植物
- 社寺
- ★ 博物館・美術館
- ◆ 建造物・庭園・公園
- ▼ 地域景観
- ◆ 年中行事・体験学習

【広島港周辺観光資源一覧】

No	種別名称	資源評価	資源名称	市町村
1	博物館・美術館	特A	広島平和記念資料館	広島市
2	社寺	特A	厳島神社	廿日市市
3	建造物	A	原爆ドーム	広島市
4	島	A	宮島	廿日市市
5	年中行事	B	宮島の管絃祭	廿日市市
6	植物	B	弥山原始林	廿日市市
7	社寺	B	千畳閣	廿日市市
8	島	B	江田島	江田島市
9	庭園・公園	B	縮景園	広島市
10	海岸	B	音戸の瀬戸	呉市
11	建造物		旧海軍兵学校	江田島市
12	博物館・美術館		大和ミュージアム	呉市
13	博物館・美術館		呉市入船山記念館	呉市
14	庭園・公園		アレイからすこじま	呉市
15	地域景観		呉の屋台	呉市

※資源評価が空欄の資源は「観光資源評価台帳」に記載されていない資源

<食文化>

食文化	名称	市町村
海鮮料理	牡蠣	廿日市市
煮・焼き物	煮ごめ	広島市
	アナゴの蒲焼	廿日市市
	牡蠣の殻焼き	廿日市市
ご飯・寿司	あなごめし	廿日市市
菓子・土産	もみじまんじゅう	廿日市市

【5】 下関港（山口県下関市）

特定重要港湾

【下関港周辺観光資源】



※ 円は対象港から直線距離で20km圏を示す



下関港

出所：<http://aotearoa-web.hp.infoseek.co.jp/seoul0310-01.html>

【凡例】

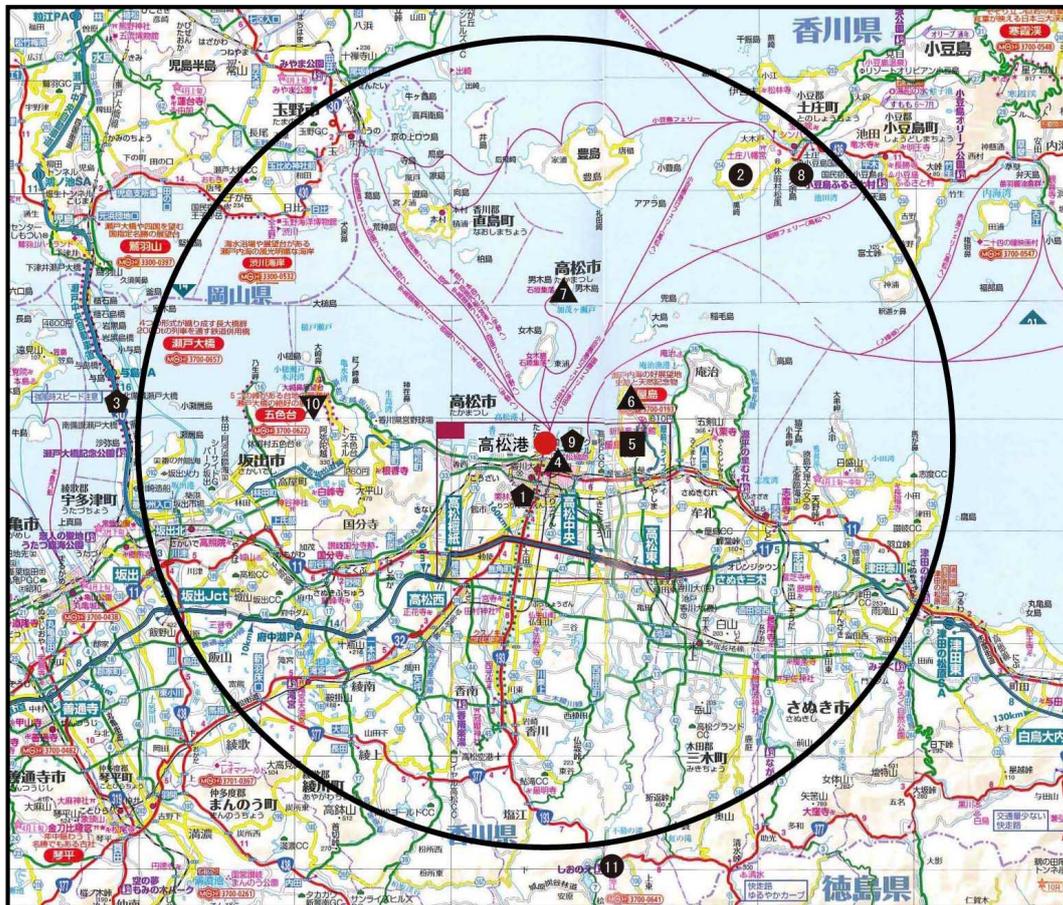
- 島・海岸・山岳・温泉・岩石・洞窟・植物
- 社寺
- ▲ 城跡・城郭・史跡・歴史景観
- ★ 博物館・美術館・テーマパーク
- ◆ 建造物・庭園・公園
- ▼ 地域景観
- ◆ 年中行事・体験学習

【下関港周辺観光資源一覧】

No	種別名称	資源 評価	資源名称	市町村
1	社寺	B	赤間神宮	下関市
2	社寺	B	住吉神社	下関市
3	歴史景観	B	長府の侍屋敷	下関市
4	年中行事	B	先帝祭（赤間神宮）	下関市
5	地域景観		唐戸市場	下関市
6	建造物		関門橋	北九州市
7	建造物		関門トンネル	北九州市
8	庭園・公園		和布刈公園	北九州市
9	庭園・公園		白野江植物公園	北九州市
10	地域景観		門司港レトロ	北九州市
11	博物館・美術館		九州鉄道記念館	北九州市
12	建造物		ブルーウィングもじ	北九州市
13	城跡・城郭		小倉城	北九州市
14	庭園・公園		到津の森公園	北九州市
15	博物館・美術館		北九州市ほたる館	北九州市
16	博物館・美術館		北九州市立自然史・歴史博物館	北九州市
17	博物館・美術館		北九州市立美術館	北九州市
18	博物館・美術館		北九州市立文学館	北九州市
19	博物館・美術館		北九州市立松本清張記念館	北九州市
20	建造物		旧松本家住宅	北九州市
21	庭園・公園		高塔山公園	北九州市
22	博物館・美術館		火野葦平資料館	北九州市
23	岩石・洞窟		平尾台	北九州市
24	社寺		福聚寺	北九州市
25	地域景観		皿倉山	北九州市
26	建造物		森鷗外旧居	北九州市
27	テーマパーク		スペースワールド	北九州市
28	体験学習		九州民芸村	北九州市

※下関市内の資源評価が空欄の資源は「観光資源評価台帳」に記載されていない資源
北九州市内の資源についてはインターネットにより主な資源を抽出

【高松港周辺観光資源】



※ 円は対象港から直線距離で20km圏を示す



高松港

出所：http://www.pa.skr.mlit.go.jp/tkgityou/district/1_p.htm

【凡例】

- 島・海岸・山岳・温泉・岩石・洞窟・植物
- 社寺
- ▲ 城跡・城郭・史跡・歴史景観
- ◆ 建造物・庭園・公園
- ▼ 地域景観

【高松港周辺観光資源一覧】

No	種別名称	資源評価	資源名称	市町村
1	庭園・公園	A	栗林公園	高松市
2	島	A	小豆島	土庄町・小豆島町
3	建造物	A	瀬戸大橋	宇多津町・坂出市・倉敷市
4	城跡・城郭	B	高松城	高松市
5	社寺	B	屋島寺	高松市
6	史跡	B	屋島	高松市
7	歴史景観	B	男木島の町並み	高松市
8	海岸	B	余島海岸	土庄町
9	建造物		北浜 alley	高松市
10	地域景観		五色台	高松市
11	温泉		塩江温泉	高松市

※資源評価が空欄の資源は「観光資源評価台帳」に記載されていない資源

<食文化>

食文化	名称	市町村
そば・うどん	さぬきうどん	高松市
特産品	三盆糖	高松市
煮・焼き物	どじょう汁	さぬき市
ご飯・寿司	あなごめし	高松市
	カンカン寿司	さぬき市



栗林公園

出所：<http://www.flickr.com/photos/boonpin/22808667/>



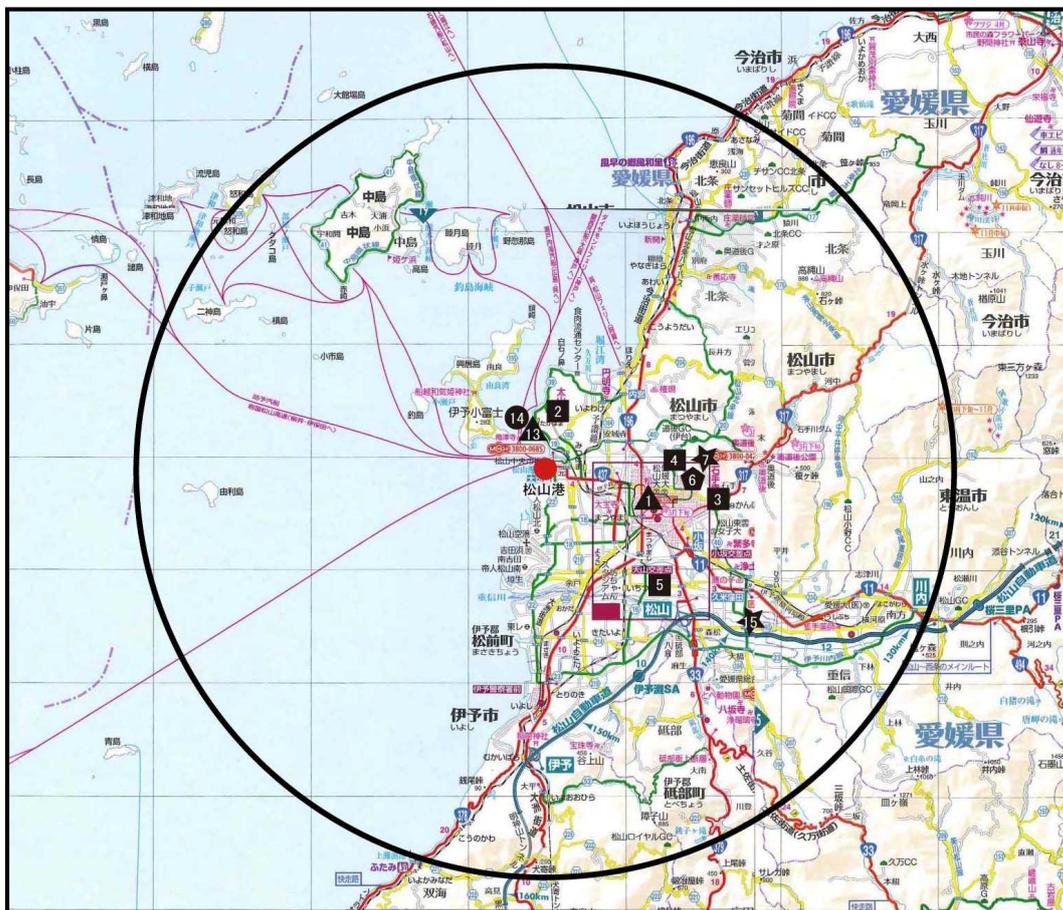
男木島町並み

出所：<http://www.pref.kagawa.jp/takamatsuko/n-ogihuukei.htm>

【7】 松山港（愛媛県松山市）

特定重要港湾

【松山港周辺観光資源】



※ 円は対象港から直線距離で20km圏を示す



【凡例】

- 社寺
- ▲ 城跡・城郭・史跡・歴史景観
- ★ 博物館・美術館
- ◆ 建造物・庭園・公園

【松山港周辺観光資源一覧】

No	種別名称	資源評価	資源名称	市町村
1	城跡・城郭	A	松山城	松山市
2	社寺	B	太山寺	松山市
3	社寺	B	石手寺	松山市
4	社寺	B	伊佐爾波神社	松山市
5	社寺	B	伊予豆比古命神社	松山市
6	建造物	B	道後温泉本館	松山市
7	博物館・美術館	B	子規記念博物館	松山市
8	建造物		明教館	松山市
9	建造物		愚陀仏庵	松山市
10	建造物		きどや(山城屋)、	松山市
11	史跡		松山中学校跡地	松山市
12	博物館・美術館		子規堂	松山市
13	史跡		梅津寺	松山市
14	島		ターナー島	松山市
15	庭園・公園		杖之淵公園	松山市

※資源評価が空欄の資源は「観光資源評価台帳」に記載されていない資源



松山城

出所： http://www.morisawa.org/picture/ehime_m/DSCF5396.html



道後温泉本館

出所： <http://home.e-catv.ne.jp/nagahara/dogo01.html>

【8】 宇野港（岡山県玉野市）

重要港湾

【宇野港周辺観光資源】



※ 円は対象港から直線距離で20km圏を示す



宇野港

出所： <http://satouno.hp.infoseek.co.jp/photo/uno2003.htm>

【凡例】

- 島・海岸・山岳・温泉・岩石・洞窟・植物
- 社寺
- ▲ 城跡・城郭・史跡・歴史景観
- ★ 博物館・美術館
- ◆ 建造物・庭園・公園
- ◆ 年中行事・体験学習

【宇野港周辺観光資源一覧】

No	種別名称	資源評価	資源名称	市町村
1	庭園・公園	A	後楽園	岡山市
2	社寺	A	吉備津神社	岡山市
3	年中行事	A	西大寺会陽	岡山市
4	博物館・美術館	A	大原美術館	倉敷市
5	歴史景観	A	倉敷美観地区	倉敷市
6	建造物	A	瀬戸大橋	宇多津町・坂出市・倉敷市
7	歴史景観	B	吉備津の門前町	岡山市
8	城跡・城郭	B	岡山城	岡山市
9	庭園・公園	B	曹源寺庭園	倉敷市
10	社寺	B	熊野神社	倉敷市
11	岩石・洞窟	B	象岩	倉敷市
12	博物館・美術館		荻野美術館	倉敷市
13	歴史景観		下津井の町並み	倉敷市
14	庭園・公園		田土浦公園	倉敷市
15	博物館・美術館		野崎家塩業歴史館	倉敷市
16	博物館・美術館		むかし下津井回船問屋	倉敷市
17	山岳		鷺羽山	倉敷市
18	博物館・美術館		玉野海洋博物館	玉野市

※資源評価が空欄の資源は「観光資源評価台帳」に記載されていない資源



鷺羽山

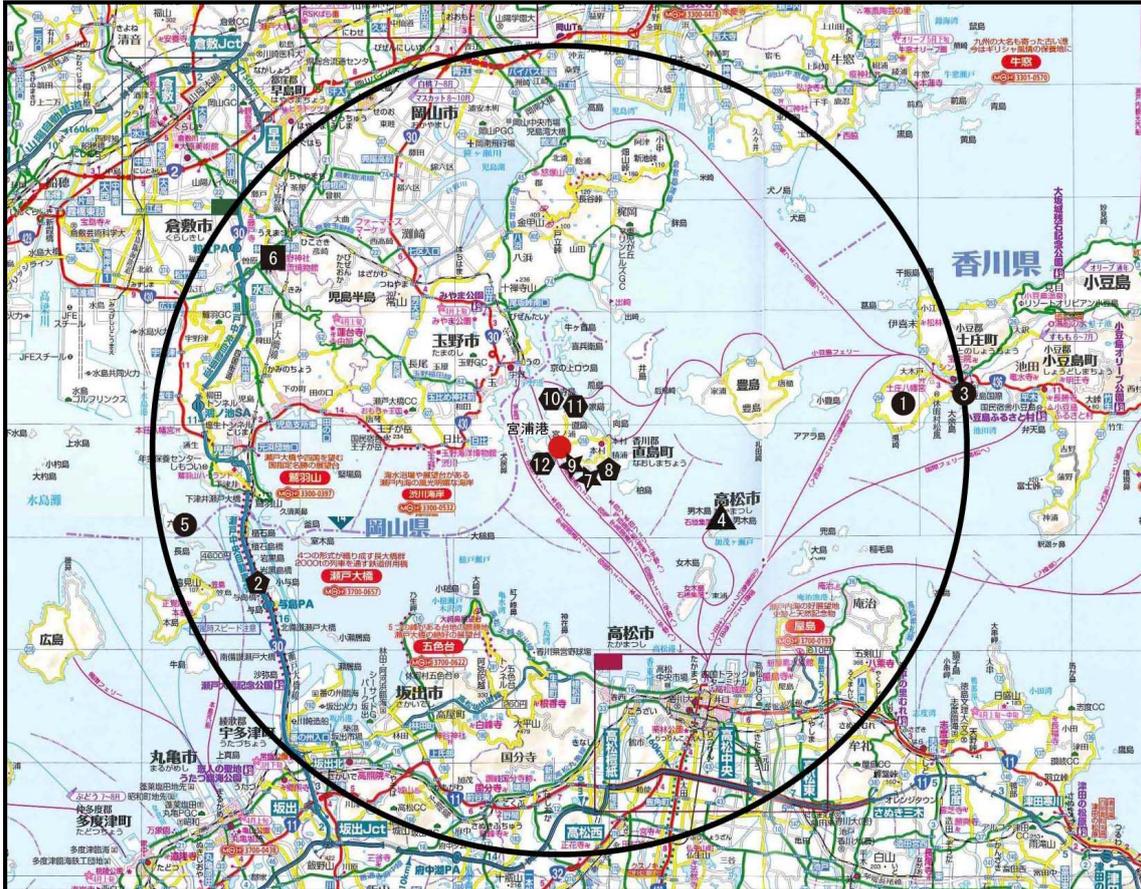
出所：http://www.nikkanren.or.jp/Cgi/ASP/Y_Index.asp?YN_CD=65690&TEMP_TYPE=99



後楽園

出所：http://www.morisawa.org/picture/A_nihonsanteien_m/DSCF0788.html

【宮浦港周辺観光資源】



※ 円は対象港から直線距離で20km圏を示す



宮浦港

出所: <http://sue.jp/m/project/>

【凡例】

- 島・海岸・山岳・温泉・岩石・洞窟・植物
- 社寺
- ▲ 城跡・城郭・史跡・歴史景観
- ★ 博物館・美術館
- ◆ 建造物・庭園・公園
- ◆ 年中行事・体験学習

【宮浦港周辺観光資源一覧】

No	種別名称	資源評価	資源名称	市町村
1	島	A	小豆島	土庄町・小豆島町
2	建造物	A	瀬戸大橋	宇多津町・坂出市・倉敷市
3	海岸	B	余島海岸	土庄町
4	歴史景観	B	男木島の町並み	高松市
5	岩石・洞窟	B	象岩	倉敷市
6	社寺	B	熊野神社	倉敷市
7	博物館・美術館		ベネッセアートサイト直島	直島町
8	庭園・公園		直島つり公園	直島町
9	博物館・美術館		007 赤い刺青の男記念館	直島町
10	体験学習		エコアイランド なおしまプラン	直島町
11	体験学習		三菱マテリアル PLANT ツアー	直島町
12	体験学習		なおしまスラグ陶芸体験工房	直島町

※資源評価が空欄の資源は「観光資源評価台帳」に記載されていない資源



ベネッセハウス・ミュージアム

出所：http://www.naoshima.net/view/index.html



エコアイランドなおしまプラン
香川県直島環境センター

出所：http://www.naoshima.net/view/index.html

【瀬戸田港周辺観光資源】



※ 円は対象港から直線距離で20km圏を示す



瀬戸田港

出所：<http://leo9ball.kt.fc2.com/ikuchi4.html>

【凡例】

- 島・海岸・山岳・温泉・岩石・洞窟・植物
- 社寺
- ▲ 城跡・城郭・史跡・歴史景観
- ★ 博物館・美術館
- ◆ 建造物・庭園・公園
- ▼ 地域景観
- ◆ 年中行事・体験学習

【瀬戸田港周辺観光資源一覧】

No	種別名称	資源評価	資源名称	市町村
1	社寺	A	大山祇神社	今治市
2	島	B	生口島	尾道市
3	社寺	B	耕三寺	尾道市
4	島	B	大三島	今治市
5	建造物	B	しまなみ海道諸橋	尾道市・今治市
6	社寺	B	西国寺	尾道市
7	社寺	B	浄土寺	尾道市
8	地域景観	B	尾道山手地区の町並み	尾道市
9	歴史景観	B	竹原町並み	竹原市
10	社寺		向上寺	尾道市
11	博物館・美術館		平山郁夫美術館	尾道市
12	体験学習		シトラスパーク瀬戸田	尾道市
13	地域景観		クレーンライトアップ	尾道市
14	歴史景観		松坂邸	竹原市

※資源評価が空欄の資源は「観光資源評価台帳」に記載されていない資源



多々羅大橋

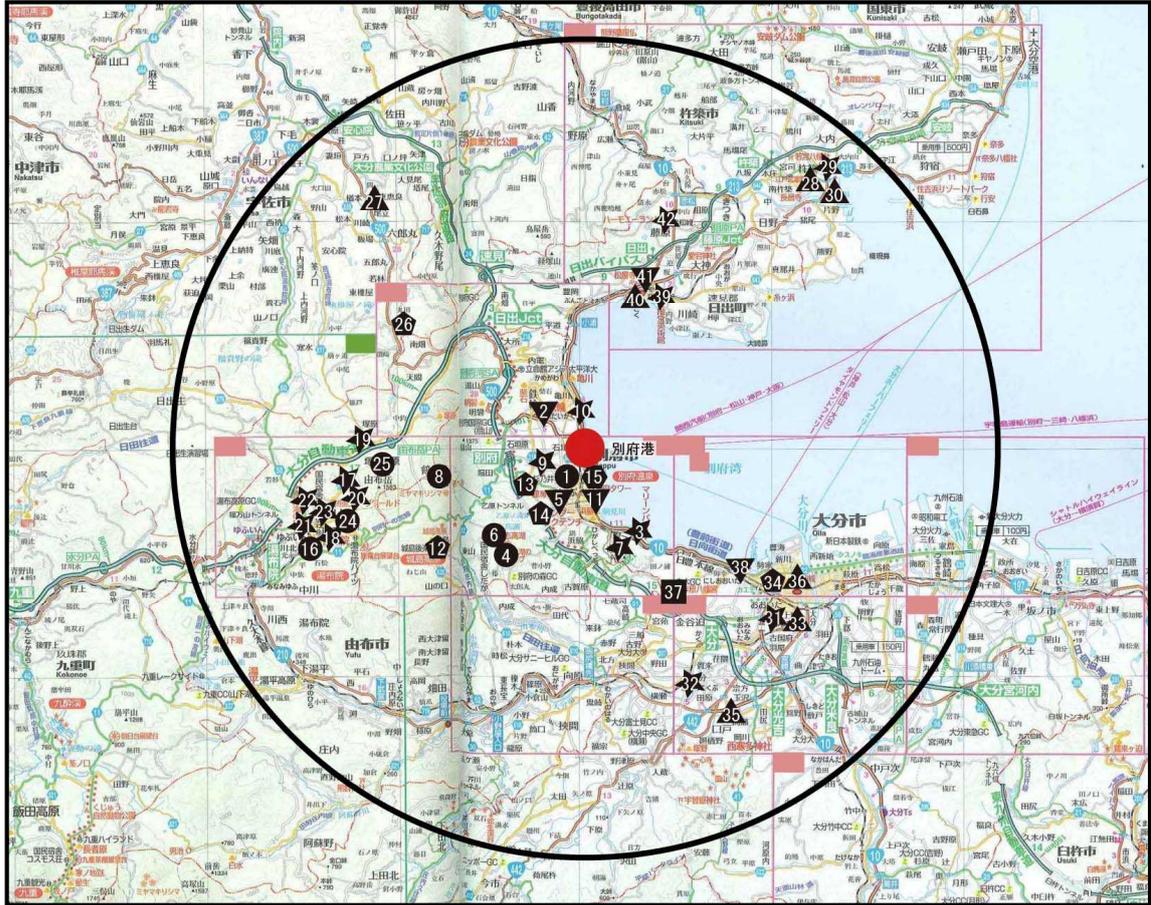
出所： <http://shikoku-net.co.jp/ehime/shimanamikaidou.htm>



平山郁夫美術館

出所： <http://www.go-shimanami.jp/index.html>

【別府港周辺観光資源】



※ 円は対象港から直線距離で20km圏を示す



別府港

出所：http://www.pilot-license.com/tabi/tabi_05saga.htm

【凡例】

- 山岳・温泉・湖沼・高原
- 社寺
- ▲ 城跡・城郭・史跡・歴史景観
- ★ 博物館・美術館・動植物園・水族館・テーマパーク
- ◆ 建造物・庭園・公園・遊園地
- ▼ 地域景観
- ⬡ 年中行事・体験学習

【別府港周辺観光資源一覧】

	種別名称	資源 評価	資源名称	市町村
1	温泉		別府八湯	別府市
2	地域景観		べっふ地獄めぐり	別府市
3	動植物園・水族館		大分マリーンパレス水族館	別府市
4	湖沼		神楽女湖	別府市
5	動植物園・水族館		高崎山自然動物園	別府市
6	山岳		鶴見岳	別府市
7	博物館・美術館		別府市竹細工伝統産業会館	別府市
8	博物館・美術館		別府市美術館	別府市
9	地域景観		別府タワー	別府市
10	遊園地		城島後楽園ゆうえんち	別府市
11	体験学習		別府八湯温泉泊覧会（オンパク）	別府市
12	温泉		由布院温泉	由布市
13	博物館・美術館		由布院空想の森アルテジオ	由布市
14	博物館・美術館		由布院美術館	由布市
15	博物館・美術館		九州自動車歴史館	由布市
16	湖沼		金鱗湖	由布市
17	高原		塚原高原	由布市
18	動植物園・水族館		アフリカンサファリ	宇佐市
19	歴史景観		杵築武家屋敷跡	杵築市
20	城跡・城郭		杵築城	杵築市
21	博物館・美術館		大分市美術館	大分市
22	社寺		柞原八幡宮	大分市
23	博物館・美術館		二階堂美術館	日出町

※資源については各市町村の観光関係 HP より抽出



べっふ地獄めぐり

出所：<http://www.okota.net/tabi/031207g/06.htm>



杵築武家屋敷跡

出所：<http://domestic.travel.yahoo.co.jp/tif/area/k44/>

2-4. 海（船）から見た瀬戸内海景観の魅力

ここまで瀬戸内海の観光資源、素材の多様さを捉えてきたが、陸上側から見た資源の整理が主体となっており、「クルーズ船の乗客から、どういう風に見えるか、どういう風に感じられるか」という視点に立った「瀬戸内海ならではの価値」が今ひとつ欠けている。

海や船から見た瀬戸内海の景観・風景こそが、せとうちクルーズの醍醐味として重要であると考えられる。

①景観対象と瀬戸内海資源

「景観法」の基本理念で、地域の「自然」や「歴史・文化」、「人々の生活」、「経済活動」等が調和することにより良好な景観が形成されているように、地域の景観は次の4つの景観要素から体系立てられていると考えられる。

- ・自然景観
- ・歴史・文化景観
- ・生活景観
- ・近代産業景観

これらの景観を海から見た際に、瀬戸内海らしさを醸し出す要素としては、次頁からの表にある資源が指摘できよう。特に注目されるのが、瀬戸内の「生活景観」であり、「海」や「島」という瀬戸内海らしい地域条件下の生活では当たり前であっても、何気ない素朴な生活の景観が、海から訪れる人々に感銘を与えることができる。

②時間・季節に応じて変化する神戸・瀬戸内海地域の魅力景観

前述の「海からの景観要素」は、どのような地点（視点）や状況で見られるかにより、様々な変化や多様性を持つことになる。海や船からという視点の問題だけでなく、1日の時間帯や季節による変化、さらには船旅による「移動しながらの変化」をも組み合わせると、瀬戸内海には数限りない多様な景観が存在している。

<時間変化>

1日の時間変化の中で、日中だけでなく、朝焼け、夕焼け、夜景などで地域の景色、景観は大きな変貌を遂げることがある。

[昼と夜で変化する港町 神戸]



[昼と夜で変化する明石海峡大橋]



<http://www.nightview.info/emotion/yakei/kobe-city/port/>

<季節変化>

地域の姿が季節に応じて変化するのは、四季を持つわが国の特徴であるが、神戸・瀬戸内海地域では、陸地側とともに、海や島の変化が組み合わせられ多彩な景観を醸し出している。

<天候の変化>

天候の変化、違いによっても、瀬戸内海の景観は違った味わいを醸し出す。晴天だけでなく、朝靄や霧などがクルーズ旅行の情緒を演出することともなり得る。

<シークエンス景観>

シークエンス景観とは「移動することで変化する景色」、「移動しながらの、景観の見え方」のことである。特にクルーズ旅行では、海上を移動しながら風景を見ることになるため、このシークエンス景観の考え方が大切となる。島並や港あるいは橋などの構造物が遠景から中景、近景へと徐々に変化する様は、自動車や鉄道では味わうことのできない魅力であろう。

瀬戸内海らしい海からの景観要素

景観要素の体系	瀬戸内海らしい海からの景観要素と例
自然景観 ①地形 ②山岳、里山・奥山 ③海岸・海・干潟 ④河川・河口 ⑤湖沼・ため池 ⑥動植物 ⑦自然現象 など	<ul style="list-style-type: none">・大小点在する多島美・穏やかな海・照葉樹林に囲まれる島の姿・岩礁地質の島の姿  <p>島の地形、地質の違いによっても、様々な見え方の変化が味わえる。</p> <p>家島諸島</p> <ul style="list-style-type: none">・海猫  <p>「船から見える風景 100 選」</p> <p>http://www.jships.or.jp/100sen/2007/list_04.html</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・海に映る夕焼け、朝焼け  <p>夕焼けと水面、島影そして事例写真のような生活景観と重なることで瀬戸内海らしさが現れる。</p> <p>撮影：佐藤大介氏</p> <p>http://bb.watch.impress.co.jp/column/hyakkei/2003/11/20/</p>
<p>歴史・文化景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 歴史的なまちなみ、港 ② 文化財 ③ 近代化遺産 	<ul style="list-style-type: none"> ・海から見た港湾都市 ・海に向かって開けた港町、漁港街並み  <p>瀬戸内海に数多く存在する漁港は地域の生活、産業景観を残すところが多い。</p> <p>山口県牛島漁港；漁民家族で造り上げられた石積漁港「未来に残したい漁業漁村歴史文化財産百選」より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海上、海岸に残される歴史的モニュメント ・海を奉る信仰モニュメント
<p>生活景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 住まい・住宅地 ② 公園・緑地・広場、地域のシンボル ③ 労働風景（農業・漁業） ④ 伝統行事 	<ul style="list-style-type: none"> ・海に向かい港に寄り添う漁村 ・俗化されない素朴な街並み ・瀬戸内海らしい漁業風景  <p>瀬戸内海には瀬戸内ならではの産物、漁法があり、地域の生活に根付いている風景が魅力となる。</p> <p>祝島の干しタコ風景</p> <p>祝島市場HPより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傾斜地に広がる農業風景  <p>「せとうちネット」HPより</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・海に生活する上での習慣、ならわし、行事  <p>広島江波の曳舟</p> <p>「未来に残したい漁業漁村歴史文化財産百選」より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活感を感じる地域の臭い、音
<p>近代産業景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 道路・鉄道・橋梁 ② 駅・港・空港 ③ 商業系 ④ 事務所系 ⑤ 工場系 ⑥ 伝統・地場産業 	<ul style="list-style-type: none"> ・海上からしか見られない3架橋のアンクル、ダイナミズム <div data-bbox="895 801 1358 949" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>瀬戸内海に架かる3架橋は、土木構造物としても景観に配慮されているが、海上からの景観とシークエンスは瀬戸内ならのものである。</p> </div>   <p>坂出市HPより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海から見る港湾都市、ビル群 ・塩田 ・斜面に広がるオリーブ畑

3. クルーズ船内の魅力向上と寄港地の「おもてなし」について

3-1. クルーズ船内の魅力付け

クルーズ旅行は、移動と宿泊、食事、エンターテイメントが一体で提供されることから、乗客は荷物の持ち運びを気にせずに、船内プログラムやエクスカージョンに参加したり、船内や寄港した港の周辺でのんびりしたり、乗客同士や寄港地の人々と交流し沢山の友達をつくったり、色々な時間の使い方をすることができる。クルーズ旅行の大きな魅力のひとつは、このように「楽」に「気まま」にクルーズライフを楽しめることにある。

従って、クルーズ船の中では、コンサートやカルチャー教室など様々なアトラクションが行なわれ、乗客が船内で快適に過ごせるよう食事や装飾、音楽などにも注意が払われている。

① 船内アトラクション

前述の web アンケートでは、せとうちクルーズ参加希望者の2/3が「プログラムを選んで参加」、1/4が「沢山のプログラムに参加」と回答、そして、参加したいプログラムとしては「旅行先の文化・歴史に関する教室」や「コンサート」、「ショー」、「写真や絵画の教室」、「寄港地・クルーズ船に関する講演」などを選択している。

邦船で実際に行なわれている船内アトラクションとしては、「講演」や「コンサート・演奏会」、「ショー」、「講座・教室」が多いほか、映画上映やビンゴゲーム、フォトコンテストなども行なわれている。また、クルーズ旅行自体にテーマ性（健康、美容、癒しなど）を持たせ、テーマに沿ってアトラクションやエクスカージョン、船内食をコーディネートするテーマクルーズも行なわれている。

邦船社としては、押し付け感がないようにしながらも、乗客が「何をしたら良いのか」困らないように、アトラクション参加のおすすめ例を提供しているようである。

なお、船内アトラクションとは言えないが、寄港地の関係者が事前に船内デスクを設けて、寄港地の観光案内などを行なっているケースも少なくない。

<講演>

講演のテーマは、旅、クルーズ、地域の自然、歴史、文化、食、健康など多彩であるが、クルーズあるいは寄港地などに関係するテーマが多い。瀬戸内海らしい講演のテーマも、「源平合戦」や「瀬戸内海の食」、「瀬戸内海の景観」、「文学作品・映画の中で描かれた瀬戸内海」、「江戸・明治の来日外国人が見た瀬戸内海」など多数思いつくことができる。

<コンサート・演奏会>

クルーズ旅行の乗客は中高齢者が中心となるため、クラシックや軽音楽が主体となる。

クルーズは「ゆったりした旅」であり、旅の雰囲気をもたらし、旅の雰囲気を助長する音楽が望まれる。瀬戸内海らしい音楽としては、瀬戸内各地の和太鼓の演奏や、瀬戸内海を題材・舞台とした映画・ドラマ等で用いられた楽曲などが考えられる。

<ショー>

寄港地に関わる伝統芸能や郷土芸能のほか、クルーズ船内の滞在生活を飽きさせないためマジックやダンスなどのショープログラムが行われている。瀬戸内海らしいショーとしては、「淡路の人形浄瑠璃」や「小豆島の農村歌舞伎」などが考えられよう。

<講座・教室>

一般のカルチャースクールと同じ様な講座・教室が船内で実施されており、クルーズや寄港地とは関係のないテーマが多いが、寄港地に関連したテーマで行なわれるケースもある。なお、午前中は体を動かすアトラクションを中心にするなど、クルーズライフを快適に過ごせるように、時間によってアトラクションの内容を変える工夫もこらされている。

瀬戸内海らしい講座・教室としては、「瀬戸内海の景観を歌に詠む教室」や「讃岐うどんを打つ教室」などが考えられる。

「ばしふいっくびいなす」のアトラクション事例

ジャンル	実施例
講演	旅、クルーズ、目的地に関する講演。 テーマは、自然、歴史、文化、食など。
コンサート	○軽音楽(ジャズバンド、ジャズボーカル、コーラス、アカペラ 等) ○クラシック(歌曲、室内楽 等) ○邦楽(琴・尺八、津軽三味線 等) ○南米音楽、中国音楽、琉球音楽 等
ショー	○マジック、イリュージョン ○舞踊(日本舞踊、タンゴ、フラ、タヒチアンダンス) ○中国雑技団 ○落語、太神楽曲芸、講談 ○文楽、狂言、伝統芸能、郷土芸能、トークショー 等
講座・教室	○語学 ○絵画(絵画、水墨画、似顔絵)、和歌 ○囲碁、コントラクトブリッジ ○太極拳、社交ダンス、エアロビクス、ウォーキング ○エステ、ハワイアンキルト、中国茶、ゴルフ 等

②船内食

船内では、朝昼晩の 3 食に加え、午前・午後のティータイム、夜食などが提供されている。乗客はクルーズ旅行の期間中、同じシェフが作る食事を食べることになるため、船社では「飽きない食事を提供する」よう注意を払っている。

邦船の中でも船内食に力を入れている「にっぽん丸」では、訪れた土地ならではの食材や旬の食材を使った料理を提供するようにしており、「どんな食材を使うか」事前に乗客に伝えるようにしている。また、外国船が日本に寄港した際、次の寄港地からその土地の有名食材を取り寄せ船内で乗客に食べてもらったところ、乗客に好評で寄港時に追加購入したケースもある。

訪れた土地ならではの食材・料理を船内で味わえることは、クルーズ旅行の大きな楽しみの一つであるし、船内での食事によって、次の寄港地でのエクスカーションや土産物購入に対する乗客の期待を高めるような工夫も重要と考えられる。

なお、瀬戸内海らしい食材としては、広島の特産や下関の河豚、大分の関さば・関あじなどの海産物が多いほか、神戸牛や讃岐うどんといった全国ブランドも数多い。

3-2. 寄港地での「おもてなし」について

ここでは、寄港地での「歓迎イベント」及び「エクスカージョン」について、マーケットニーズを踏まえながら、「おもてなし」という観点で事例を調査・整理した。

①マーケットニーズ

第1章で見たように、国内旅行では、「温泉」や「風景・景観」、「世界遺産、名所・旧跡」、「話題の観光スポット」、「伝統的街並み」など有形の観光資源へのニーズが強いものの、「グルメ」や「祭り・イベント」といった無形の観光資源へのニーズも強まってきているほか、せとうちクルーズでも「グルメ」や「歴史・文化」への期待は小さくない。また、「寄港地での交流」も人気の高い企画として定着しつつある。

こうした無形の観光資源や「寄港地での交流」は、クルーズ船の乗客をもてなそうとする地元の人々の「想い」や「行動」であり、その土地の生活や文化に根ざした「おもてなし」であると言える。

クルーズ船の乗客が「また来たい」と思えるような時間を、寄港地で過ごせるかどうか船社やエージェントが寄港地を選択する基準と言え、「おもてなし」は観光資源と並んで寄港地の魅力を決定付ける重要な要素となっている。

②「おもてなし」事例

寄港地での「おもてなし」事例としては、「太鼓や郷土芸能の披露」、「子どもによる歓送迎」、「民芸品や地元食材を使った料理の提供」、「岸壁における地元製品の展示販売」などが多いようである。

客船誘致に熱心な港・都市では、定番的な「おもてなし」だけでなく、「地元の人々との交流の中で、寄港地の歓迎が実感できる」ような「おもてなしを実践しており、この点が乗客や船社に評価されているようである。

また、乗客に寄港地への好印象や余韻を感じてもらうには、送別イベントが重要であり、具体的には、「岸壁で全員が赤いハンカチを振って見送った」伊勢港の事例や、「岸壁でイカ踊りを踊って見送った」函館港の事例などが好事例となる。

なお、「おもてなし」は特別なイベントに限定されるものではなく、地元の人々が乗客に対して親切・朗らかに接することが重要である。鹿児島県の甕島では、「ごく自然に島民が挨拶してくれたこと」で、乗客は島での時間を快適に過ごせたとのことである。

神戸・瀬戸内海地域の港・都市による代表的な「おもてなし」事例としては、下関港や高松港の事例があげられる。もっとも、船社や港湾関係者へのヒアリングでは、「瀬戸内海地域の港・都市は、あまり客船誘致に積極的でなかった」との指摘もあり、瀬戸内海地域における先進的な「おもてなし事例」はそれほど多くはない。

「おもてなし」先進事例

寄港地名	主な「おもてなし」内容	事例調査方法
清水港	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生による「港かっぽれ」踊り ・漁業者によるマグロ解体ショー ・街歩きマップ配布 ・イベント等を出来る限り岸壁で行い、乗客と地元の人々が交流する機会を創出 	現地への訪問調査・ヒアリング
新潟港	<ul style="list-style-type: none"> ・萬代太鼓の実演 ・花火の打上 ・ガイドマップ、誘導案内板等の設置 	現地への訪問調査・ヒアリング
大船渡港	<ul style="list-style-type: none"> ・秋刀魚を焼いてもてなし ・商店街で歓迎ののぼりを設置 ・商店街で入港した船名を付けたメニューを準備 	クルーズ専門誌宛ヒアリング

神戸・瀬戸内海地域の「おもてなし」事例

寄港地名	主な「おもてなし」内容	事例調査方法
下関港	<ul style="list-style-type: none"> ・「平家踊り」の実演 ・岸壁でふぐ料理、くじら料理をもてなし ・鎧や着物の着付け体験 ・散策マップ、ロケ地マップ等の提供 ・宝探し、スタンプラリー等の仕掛けを用意 	現地への訪問調査・ヒアリング
高松港	<ul style="list-style-type: none"> ・讃岐うどんをもてなし ・獅子舞の披露 ・幼稚園児による見送り 	現地への訪問調査・ヒアリング

従って、「おもてなし」において「瀬戸内海らしさ」を如何に発揮・アピールしていくかは、今後の課題となる。神戸・瀬戸内海地域の「グルメ」や「歴史・文化」を活かした「おもてなし」に取り組んでいくことが、ひとつの「鍵」になるのではないだろうか。

なお、瀬戸内海には、昭和やそれ以前の時代の景観を色濃く残す「日本の原風景」的な島が少なくない。神戸芸術工科大学の斎木研究室では、瀬戸内海の島を小船で巡る調査旅行を、2007年、2008年に計3回実施しており、参加者によれば、「島の人々は親切」であり、島には「街並みや自然、静けさなど地元の人が気づいていない価値」があることから、「普段のままの島と人々が一番の『おもてなし』だろう」とのことである。

こうした瀬戸内海の島々の自然や生活を乱さないように注意しながら、「日本の原風景」が与えてくれる「おもてなし」を体感できる少人数のエクスカージョンも、検討すべきと考えられる。

③「おもてなし」を継続可能とする仕掛け

船社等へのヒアリングによると、寄港地での「おもてなし」には、船社やエージェントが費用を負担するケースと、地元が費用負担をするケースがあるとのことである。

クルーズ船の寄港が年数回程度であれば、地元の費用負担で盛大な「おもてなし」も可能であろうが、頻繁に寄港するようになれば、「おもてなし」と「地域活性化の仕掛け」をリンクさせた取組が必要になるのではないかと考えられる。

クルーズと直接にリンクさせた取組事例が既にあるかは不明であるが、牡蠣の養殖やミカンの栽培、桜の植樹、段々畑の保全など、色々な分野で都市の住民等に出資してもらいオーナーになってもらう取組が行なわれている。クルーズのエクスカージョンと、このオーナー制度をリンクさせるなど、クルーズの乗客と寄港地の双方にメリットのある「おもてなし」を開発していくことが重要と考えられる。

4. せとうちクルーズ・モデルプラン

クルーズ・マーケット及び観光資源、船内魅力向上事例、寄港地「おもてなし」事例の調査を踏まえ、神戸港を起点とした「せとうちクルーズ」のモデルコース案を検討する。

4-1. 検討の枠組み

モデルコースは、対象とするマーケット、使用する船舶の規模、寄港地など様々な項目が「変数」となり、その組み合わせを検討することになる。

検討すべき項目と、それぞれの「変数」は以下のようなものが挙げられる。

①検討すべき項目

- 対象マーケット（募集圏域、年齢層、旅行形態など）
- 想定船舶と募集規模
- 航行ルートと寄港地
- 季節、平日 or 休日、日程
- 料金（概略の旅行費用）
- エクスカージョン
- 船内アトラクション
- 寄港地受け入れ体制
- テーマ

②検討項目の「変数」例

<対象マーケット>

募集圏域	・神戸を中心とした京阪神地域 ・中部圏、中国四国圏 ・首都圏など全国 ・海外からのインバウンド
年齢層	・団塊世代 ・若年層
旅行形態	・夫婦、家族 ・グループ旅行

<想定船舶と募集規模>

トン数と募集規模	・20～30千トン（700名程度）…「ばしふいっくびいなす」クラス ・5～10千トン（300名程度）…（上記と下記の間クラス） ・2千トン（100名程度）
----------	-------------------------------------------------------------------------------------

平均時速	・20ノット程度（時速37km程度）
------	--------------------

<航行ルートと寄港地>

寄港地	<ul style="list-style-type: none"> ・主要港湾（重要港湾以上）のみ ・地方港湾等にも寄港（船により通船等を利用） *特定重要港湾…神戸港、姫路港、水島港、広島港、下関港、徳山下松港 *重要港湾…尼崎西宮芦屋港、東播磨港、岡山港、宇野港、呉港、尾道糸崎港、岩国港、三田尻中関港、宇部港、小野田港、橋港、徳島小松港、高松港、坂出港、今治港、松山港、宇部島港、東予港、新居浜港、三島川之江港
観光資源	<ul style="list-style-type: none"> ・自然資源、人文資源Ⅰ、人文資源Ⅱ ・食文化（料理、特産品） ・歴史（万葉集、平家物語、村上水軍、産業技術、朝鮮通信使） ・景観・風景（多島海景観、文化景観）

<季節、平日 or 休日、日程>

季節	<ul style="list-style-type: none"> ・春 ・夏 ・秋 ・冬
平日 or 休日	<ul style="list-style-type: none"> ・平日 ・休日
日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1泊2日 ・2泊3日 ・3泊4日 ・片道（関西～九州旅行の途上利用） 等

<船内アトラクション>

ジャンル	<ul style="list-style-type: none"> ・講演（自然、歴史、文化、食、など） ・コンサート（軽音楽、クラシック、邦楽、等） ・ショー（伝統芸能、落語、マジック、トークショー、等） ・教室（写真、絵画、囲碁、ダンス、等）
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<エクスカージョン、寄港地受入体制>

体験プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化資源などを「見る」「学ぶ」 ・瀬戸内の水産物などを「食べる」 ・美しい風景を「見る」「撮影する」 等
受入体制	<ul style="list-style-type: none"> ・港からのアクセス…徒歩、バス、 ・現地ガイド・インタープリター

4-2. モデルコース案の例

ここでは、ターゲット及び募集規模の異なる5通りのコース案を例として示す。各コースの概要は以下の通りである。

各コース案の内容マトリックス

	ターゲット				季節				テーマ										日数			募集規模							
	シニア	ミドル	ファミリー	若者	インバウンド	春	夏	秋	冬	温泉	グルメ	景観	歴史	祭り伝統芸能	街並み	生活・文化	産業観光	農林漁業体験	文学・映画	趣味	1泊2日	2泊3日	3泊4日	周遊	片道	100名規模	300名規模	700名規模	
A案	●	●	●	●		●				●	●	●			●		●					●		●					●
B案	●						●			●		●	●	●					●	●			●	●		●			
C案		●			●		●			●										●		●		●			●		
D案		●	●	●	●		●	●	●	●	●	●			●	●						●			●	●			
E案	●	●						●			●								●	●	●				●				

A案「瀬戸内の多様な魅力に触れる」2泊3日

- ・ 2～3万トンクラスの船舶を使用。
- ・ 募集規模が 700 名と多いため、神戸を中心とした京阪神地域で、個人参加や組織団体参加など、多様な層を組み合わせ設定する。
- ・ 船内プログラム等は、多様な乗船ニーズに対応できるよう、歴史文化や自然系、ショーや創作など、様々なメニューを用意する。

B案「瀬戸内の歴史文化に触れる」3泊4日

- ・ 2千トンクラスの船舶を使用。
- ・ 首都圏など全国を対象に、「歴史好き」の参加者を募集する。個人参加に加え、歴史好きのサークル等の組織団体での参加などが想定される。
- ・ 船内プログラム等は、平家物語や水上水軍、瀬戸内海運の歴史の講義などが中心となり、これらにゆかりの壇ノ浦や宮島、潮待港として栄えた港湾・街並みなどに立ち寄る。

C案「瀬戸内のグルメ寄港」2泊3日

- ・ 5千～1万トンクラスの船舶を使用。
- ・ 神戸を中心とした京阪地域の主に女性を対象に募集する。中高年の友人同士などの参加が中心になると想定される。
- ・ 瀬戸内の海産物を中心とした各地の食文化に触れることをテーマとし、寄港地毎に特産品の食事を味わう共に、船内では「さぬきうどん打ち体験」など料理講座なども実施する。

D案「下関～神戸・瀬戸内縦断コース」片道（クルーズは2泊3日）

- ・ 2千トンクラスの船舶を使用。
- ・ 海外からのインバウンド客を想定し、下関港～神戸港の片道行程で設定する。西日本を中心とした訪日観光旅行の一部行程として利用する。
- ・ 世界遺産をはじめとする瀬戸内周辺の代表的な（資源台帳でA級以上）観光資源を中心に訪問するとともに、船内では日本への旅行をより楽しんでもらえるようなプログラムを設定する。

E案「多島美景観・瀬戸内縦断コース」片道（クルーズは1泊2日）

- ・ 2千トンクラスの船舶を使用。
- ・ 神戸を中心とした京阪地域の主に年配の旅行者で、景観美や写真に関心の高い人を対象に募集する。
- ・ ゆったりと景観を楽しみながら、九州方面への旅行の交通手段の一つとしての利用を想定し、片道コースで設定する。
- ・ 寄港地は多くなく、多島美景観を船内から見るのが中心になるが、船内では写真講座などのプログラムを実施する。また、三原では上陸し、筆影山から朝日を浴びる瀬戸内の多島美景観を鑑賞・撮影する。

モデルコースA案
「瀬戸内の多様な魅力に触れる」2泊3日(瀬戸田・高松・小豆島)

①対象マーケット	募集圏域 年齢層 志向など	神戸を中心とした京阪神地域 団塊世代、家族連れ、等 旅行好きな個人・グループ、組織団体など様々な層
②想定船舶と募集規模	トン数 平均速度 定員	2～3万トン 20ノット 700名 ・一般募集(個人申込み)と組織団体参加を併用
③行程ルートと日程	泊数 寄港地 行程	2泊3日 瀬戸田(通船)、高松、小豆島(通船) <1日目> 神戸港発～(明石海峡大橋、瀬戸大橋、来島海峡大橋)船中泊 <2日目> 生口島沖(通船による上陸)～(三原瀬戸、瀬戸大橋)～高松(泊) <3日目> 高松港～小豆島沖(通船による上陸)～(明石海峡大橋)～神戸港 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>明石海峡大橋</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>小豆島(小豆島町HPより)</p> </div> </div>
④船内プログラム		世界遺産に関する講義 瀬戸内の海洋生態に関する講義 室内楽のコンサート トークショー 瀬戸内海をテーマとした写真講座・コンテスト 瀬戸内各地の伝統芸能公演 瀬戸内海の自然を描く絵画講座 等
⑤船内食事		多様な顧客層が乗船するため、複数の船内レストランを利用して多様な選択肢を用意(和食、洋食、中華、軽食、など) 各料理とも、瀬戸内の魚介類などを素材としたメニューを設定
⑥寄港地での体験プログラム		<瀬戸田> 平山郁夫美術館…瀬戸田出身の平山郁夫画伯の作品を展示する三つの展示室、日本画の世界、画伯の作品を映像で紹介するハイビジョン室など、画伯の高い芸術性と共に郷土である生口島の・歴史・文化を紹介している。 <高松> 「栗林公園」…国の特別名称に指定されている庭園の中で最大の広さを持つ江戸時代初期の回遊式大名庭園。 <小豆島> 「手延べそうめん」…小豆島の特産の手延べそうめん。2本の竹箸で麺をのばす箸分け作業体験なども可能。

モデルコースB案
「瀬戸内の歴史文化に触れる」3泊4日(下関、宮島、大崎下島、尾道)

①対象マーケット	募集圏域 年齢層 志向など	首都圏など全国 団塊世代、等 瀬戸内の歴史文化に興味のある個人・グループ
②想定船舶と募集規模	トン数 平均速度 定員	2千トン程度 20ノット 100名 ・一般募集(個人申込み)
③行程ルートと日程	泊数 寄港地 行程	<p>3泊4日 下関、松山、宮島、大崎下島、尾道</p> <p><1日目> 神戸港発～(明石海峡大橋、瀬戸大橋、来島海峡大橋)船中泊</p> <p><2日目> 下関(赤間神宮、壇ノ浦合戦址、など)～大島(忽那水軍址)～松山(泊)</p> <p><3日目> 宮島(厳島神社など)～大崎下島(御手洗の街並み、等)～尾道(泊)</p> <p><4日目> 尾道港～鞆の浦沖～(瀬戸大橋、明石海峡大橋)～神戸港</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">厳島神社 御手洗の街並み(呉市HPより)</p>
④船内プログラム		平家物語に関する講義 村上水軍に関する講義 瀬戸内海水運の歴史に関する講義 平家物語をテーマとした篠笛コンサート 瀬戸内各地の伝統芸能講演 等
⑤船内食事		和食を中心に、経由地周辺の食材を使ったメニューを用意。 (宮島のあなごめし・牡蠣、鞆の浦の鯛、など)
⑥寄港地での体験プログラム		<p><下関> 「赤間神宮」…壇之浦の合戦で入水された安徳天皇を祭神とする神宮で、境内には安徳天皇御陵、平家一門の墓、貴重な資料のある宝物殿等がある。</p> <p><宮島> 「厳島神社」…渡船に乗り替えて宮島の砂浜に上陸。現地ガイドの案内により、世界遺産・厳島神社を見学。</p> <p><大崎下島> 「御手洗の街並み」…風待ち潮待ちの港として栄えた江戸時代から昭和初期までの各時代の建物が残り、伝統的建造物保存地区となっている。</p> <p><尾道> 「文学めぐり」…尾道市内には文学作家ゆかりの資源が多い。「文学のこみち」は、尾道水道を展望する千光寺公園にあり、各作家の石碑等が点在している。</p>

モデルコースC案
「瀬戸内のグルメ寄港」2泊3日(鳴門、今治、児島)

①対象マーケット	募集圏域 年齢層 志向など	神戸を中心とした京阪神地域 中高年の女性 旅行好きな個人・グループ 組織団体
②想定船舶と募集規模	トン数 平均速度 定員	5千～1万トン 20ノット 300名 ・一般募集(個人申込み)と組織団体参加を併用
③行程ルートと日程	泊数 寄港地 行程	2泊3日 鳴門、今治、児島 <1日目> 神戸港発～(明石海峡大橋、鳴門大橋)～鳴門(鯛飯、わかめ) 船中泊 <2日目> ～(瀬戸大橋、さぬきうどんの昼食)～今治港(法楽焼き、等) 泊 <3日目> 今治港～児島(タコめし)～(瀬戸大橋、明石海峡大橋)～神戸港 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>法楽焼き(愛媛県HPより)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>下津井のタコ(倉敷市HPより)</p> </div> </div>
④船内プログラム		さぬきうどん打ち体験 ワインセミナー 健康ヨガ教室 室内楽のコンサート 瀬戸内海の自然を描く絵画講座 等
⑤船内食事		各食事はプログラムに組み込まれているが、別途軽食等の選択肢を用意。
⑥寄港地での体験プログラム		<鳴門> 「鳴門鯛」…鳴門海峡の急流で育った鳴門鯛は、鯛の中でも最高級といわれている。4月～5月には鯛網体験も可能。 <今治> 「法楽焼」…素焼きの法楽の上に小石を並べ、その上に新鮮な魚介類を盛って焼く海鮮料理。石が余分な水分を吸収してほっくりと焼き上がる。 <児島> 「下津井のタコ」…下津井で水揚げされるタコは、明石のタコと並んで美味とされている。港にならぶ干タコの姿は、下津井を代表する風物となっている。

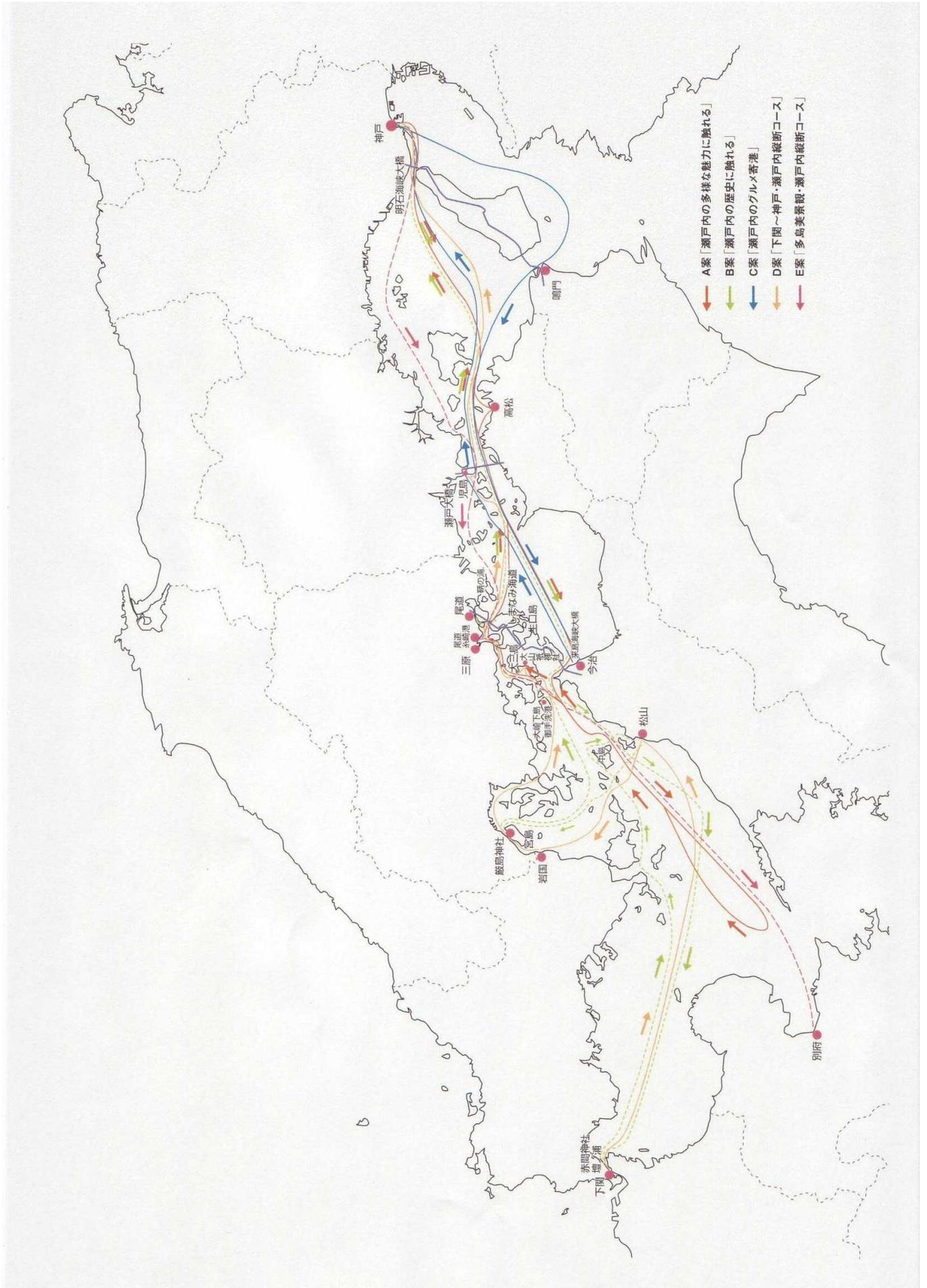
モデルコースD案

「下関～神戸・瀬戸内縦断コース」2泊3日(道後、錦帯橋、倉敷)

①対象マーケット	募集圏域 志向など	海外からのインバウンド(アジア、欧米) 瀬戸内周辺に点在する日本の代表的な観光資源を周遊
②想定船舶と募集規模	トン数 平均速度 定員	2千トン程度 20ノット 100名 ・海外のツアーオペレーター等を通じて募集(個人、グループ、組織団体、等)
③行程ルートと日程	泊数 寄港地 行程	2泊3日 松山、岩国、宮島、大三島、児島 <1日目> 下関港発～(周防灘)～松山港(道後温泉入浴)～船中泊 <2日目> ～岩国港(錦帯橋)～宮島(厳島神社)～大三島(大山祇神社)～児島港 <3日目> (倉敷市内)児島港～(瀬戸大橋、明石海峡大橋)～神戸港 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>錦帯橋(岩国市HPより)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>倉敷市美観地区</p> </div> </div>
④船内プログラム		日本の世界遺産に関する講義 日本の伝統芸能公演 簡単な日本語会話教室 室内楽のコンサート マジックショー 等
⑤船内食事		各回の食事の内、瀬戸内の魚を使った寿司などの日本食を入れる一方、出身国に配慮し洋食や中華なども組み込む。(日本食ばかりだと不満が出るため) 出身国の特性にも配慮。(例:台湾…温かいものを好む、韓国…量が重要、等)
⑥寄港地での体験プログラム		<松山> 「道後温泉」…バスにて道後温泉へ。入浴と周辺散策。 <岩国> 「錦帯橋」…バスにて錦帯橋へ。現地ガイドの案内により、美しいアーチを描く橋を徒歩で見学。 <宮島> 「厳島神社」…渡船に乗り替えて宮島の砂浜に上陸。現地ガイドの案内により、世界遺産・厳島神社を見学。 <大三島> 「大山祇神社」…大三島に海に向かって位置する神社。重要文化財で特に価値の高い甲冑類が豊富。 <児島> 「倉敷美観地区」…児島港よりバスにて移動。伝統的建造物保存地区に指定された白壁と黒い本瓦葺の町並み。周辺は大原美術館をはじめ、数々の文化スポットが点在。

モデルコースE案
「多島美景観・瀬戸内縦断コース」1泊2日(神戸～別府)

①対象マーケット	募集圏域 年齢層 志向など	神戸を中心とした京阪神地域 団塊世代、等 ゆったりと景観を楽しみながら九州方面への旅行手段として利用 写真愛好家など
②想定船舶と募集規模	トン数 平均速度 定員	2千トン程度 20ノット 100名 ・一般募集(個人申込み)
③行程ルートと日程	泊数 寄港地 行程 季節	1泊2日 尾道糸崎港 <1日目> 神戸港発～(明石海峡大橋、家島諸島、瀬戸大橋、塩飽諸島、因島大橋)～ ～尾道糸崎港・船中泊 <2日目> ～(三原・筆影山)尾道糸崎港～(大崎上島、音戸瀬戸、屋代島)～別府港 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">塩飽諸島(丸亀市HPより) 三原・筆影山からの景観(三原市HPより)</p> 各季節実施可能だが、海霧に煙る景観は晩秋～冬の冷え込んだ早朝によく見られる。
④船内プログラム		瀬戸内海をテーマとした写真講座・コンテスト 瀬戸内海の自然を描く絵画講座 瀬戸内海水運の歴史に関する講義 室内楽のコンサート マジック・舞踊・落語などのショー 等
⑤船内食事		瀬戸内の食材を使った郷土料理を中心に用意。 (牡蠣の土手鍋、今治の水軍鍋、等)
⑥寄港地での体験プログラム		<三原> 「筆影山」…山頂の展望台から眺められる多島美は瀬戸内海随一と評され、1950年、瀬戸内海国立公園の一部に指定されている。 早朝に上陸してバスにて山頂へ登り、朝日を浴びた景観を鑑賞・撮影する。 (晩秋から冬にかけては海霧が発生しやすく、特に幻想的な風景で人気。)



- A案「瀬戸内の多様な魅力に触れる」
- B案「瀬戸内の歴史に触れる」
- C案「瀬戸内のグルメ香港」
- D案「下関～神戸・瀬戸内縦断コース」
- E案「多島美景観・瀬戸内縦断コース」

5. 事業化への課題整理

5-1. 観光資源からみた課題と可能性

近年、社会全体の成熟化や個人化、高齢化などによって、「観光」に対する考え方や広がりを変化している。神戸・瀬戸内海地域には、従来より一般的な観光資源として評価される多彩な資源があるが、より地域らしさを求める国内観光ニーズを踏まえると、今まで以上の「瀬戸内海らしさ」を発揮することが求められている。

①「瀬戸内海」という独自の地勢や歴史、文化、生活と密接な関係に着目し、その視点での資源の捉え方、伝え方を見直すこと

自然資源や人文資源でも瀬戸内海に立地しているからこそ存在価値がある資源は数多いし、反対に、その資源の由来や瀬戸内海との関係を知ることで、瀬戸内海という地域の魅力を感じ取れることも多い。

地域の様々な資源を「単に見せる」、「単に体験させる」に止まらず、観光客に、資源と瀬戸内海との関わりを理解してもらうことが必要となる。具体的には、地域を良く知るボランティアガイドや語り部等との連携や、ちょっとした由来や歴史を伝えるパンフレット等ツール類の整備などが求められる。

→ **“瀬戸内の物語”を感じさせる観光旅行**

②個人化・多様化・高度化した旅行ニーズを満たす商品の提供

旅行志向の個人化や多様化、高度化が進行することで、個人個人が興味を持つ観光資源やテーマが異なり、マスツーリズムでは対応し切れない旅行ニーズが発生している。

神戸・瀬戸内海地域には、多種多様な旅行ニーズに応えることの出来る自然、景観、人文、歴史、生活等々といった資源が豊富にあり、地元の人が気付いていないような資源やテーマも少なくない。地域の観光資源を丁寧に紹介・アピールしていく活動が必要である。

→ **“知る人ぞ知る瀬戸内”の発掘とアピール**

③見逃されがちな魅力や価値を伝える工夫が必要

従来の周遊型観光のように、一般的な観光案内を効率的に行うのではなく、現地の歴史や生活なども紹介してくれる観光ガイドが注目されるようになってきている。神戸・瀬戸内海地域においても、瀬戸内海ならではの観光資源の見方や感じ方を、深く知りたい人々に対して、伝えてくれる体制や人材育成が必要であろう。

→ **“瀬戸内のひと”の発掘と育成**

5-2. クルーズ需要からみた課題と可能性

国内のクルーズ旅行は、以前から注目されてきたものの、需要は未発達・未定着の状況に止まっている。ただし、近年の高額の海外クルーズ旅行の販売好調や、時間や意識に余裕のあるシニア層の増加を踏まえると、これからの成長が期待される場所である。

必要なのは、そうした「潜在需要」、「ニーズ」を顕在化させるだけの、魅力ある商品（価格、内容共に）の開発アピールと言えよう。

①高額旅行、ぜいたく旅行に対する誤解の解消

アンケート調査の結果からみても、クルーズ旅行に対する利用者のネックは「高額であること」が大きい。確かに「2泊3日で10万円」は高価に見えがちであるが、現実にはその間の「宿泊費」、「食費」、「交通移動費」、「エンターテイメント料金」を全て含む価格であることが理解されていない。トータルの旅行費用としては、飛行機や鉄道で移動しホテルに宿泊する旅行と比べて、それほど差がないことを分かり易く上手にアピールすることが必要である。

②高額旅行、ぜいたく旅行を逆にアピール

近年の国内旅行実態をみると、個人旅行化や宿泊施設の泊食分離などにより、1回当りの平均旅行費用が減少している一方で、高級和風旅館や高額でもテーマ性の高い企画旅行にも支持が集まっている。つまり、「自分にとって不必要な内容はいらぬが、本当に望む旅行であれば、費用は惜しまない」といった判断が、消費者に浸透しているといえる。

せとうちクルーズの参加者を拡大していくには、価格を極力抑えたカジュアルクラスの商品開発・供給だけでなく、「高くても価値があるせとうちクルーズ」というコンセプトに徹したラグジュアリークラスの商品開発・供給もという方向性も考えられる。

クルーズの特長は、「楽」と「自由気ままな時間の過ごし方」である。こうした「贅沢なクルーズライフ」を、消費者にアピールしていくことは、クルーズ商品の価格帯に関わらず重要である。

→徹底した“せとうちクルーズの贅沢さ”を追求

③手軽なクルーズと近場マーケットの開拓

「せとうちクルーズ」を一つの地域ブランドとして定着を図る上では、「船の大小」や「季節」、「時間帯」に応じた「せとうちクルーズのバリエーション」が必要である。

本格的なクルーズ旅行だけでなく、限られた地域発着の「ミニ・クルーズ」なども含めて、「いつでも瀬戸内海に行けば、クルーズ旅行が楽しめる」状態を目標として、多様なクルーズ商品の開発に取り組むべきである。

→いつでも見られる、体験できる“せとうちクルーズ”の実現

④シニアマーケットの位置づけ

団塊の世代を中心としたシニア層のクルーズ旅行に対する期待は大きく、今後、前述した「高価格」や「堅苦しい」といった誤解が解消されれば、クルーズ旅行への参加者が一気に拡大する可能性がある。シニア層の参加が増えれば、他の世代でもクルーズの認知が高まり、クルーズへの参加者増加につながることも考えられよう。

また、近年の若年層は本物に対する選別眼に優れると言われ、本物の瀬戸内海らしさが伝わる商品であるならば、クルーズ旅行に対する潜在的需要は十分にあるものと思われる。シニアの次の訴求対象として、若者にターゲットを絞ったテーマ性のあるクルーズ旅行の企画、実施も期待されて良いだろう。

→シニアが先兵となる“せとうちクルーズ”

④インバウンド・マーケットの開拓

現在わが国では「観光立国推進基本計画」に基づき、国内観光の振興はもとより、海外からのインバウンド観光客の誘致に国を挙げて取り組んでいるところである。特に東アジア圏（韓国、中国、香港、台湾など）からの日本への観光旅行は増加しつつあるが、著名観光地や大都市圏を目的とした観光だけでなく、地域の日本らしさを訪ねる旅行も求められるようになってきている。

東アジア圏には瀬戸内海のような穏和な内海はみられず、さらに多島美景観に対する経験も乏しいと思われる。国内クルーズマーケットの開拓も進めながら、海外からのせとうちクルーズ観光客の誘致につとめることも求められる。

また海外からの来訪者を増やすことは、国内に対しても話題性を与え、注目してもらうチャンスともなる。

→グローバルな“せとうちクルーズ”への取り組み

5-3. 事業化、商品化への課題と可能性

①事業化を見据えた船舶の開発、整備

国内には2,000トンクラスの規模のクルーズ船がなく、現にある2万トンクラスのクルーズ船では、神戸・瀬戸内海地域で寄港できる港が限られるうえ、航行できるコースにも制約がある。

多種多様な瀬戸内海の魅力・テーマを海から訪れ楽しむには、せとうちクルーズに適した規模のクルーズ船の開発・建造や、海外からの中古船購入が望まれる

②「ニューツーリズム」のモデルとしての「せとうちクルーズ」商品化

2007年度より国土交通省に実施されている「ニューツーリズム創出・流通促進事業」によれば、「ニューツーリズム」とはグリーンツーリズムやエコツーリズム、産業観光等々と

いった従来の観光旅行にないテーマ性の強い資源や旅行スタイルの旅行商品を、旅行会社側主導だけでなく地域と共に開発し流通させようとするものである。

もちろん、その主旨からすれば「クルーズ旅行」は新しい旅行スタイルの一つであり、神戸・瀬戸内海地域の各港及び周辺地域と旅行会社が一体となって取り組むとすれば、「ニューツーリズム」のモデルといってもよい。

国の取り組みと連携をとりながら、旅行会社にすべて委ねる旅行商品の造成でなく、船舶運航、船内アトラクション、寄港地でのエクスカージョンなど、旅行をコンテンツを地域が提案し、役割を担っていくことが求められる。

③せとうちクルーズ・コンソーシアム（仮称）の設立の検討へ

せとうちクルーズを瀬戸内海地域全体の事業として推進していくためには、関係各県、各港、各島における観光関係者が主体的に関われる場を創出していく必要がある。その意味では、現在瀬戸内海全体として設立されている「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」の活動、テーマの一環として、本コンソーシアムの位置づけが検討されてよいと思われる。

④モニター実験運航の意義

2008年7月に神戸経済同友会の企画主催により、「せとうち・感動体験クルーズ」が予定されている。発着港の神戸地域だけの問題にとどめず瀬戸内海全体としても、クルーズ旅行を全国・海外へ向けアピールする機会として捉え、官民の立場や県境を越えた協力が大切である。なぜならば、そうした活動が「せとうちクルーズ」の存在を知らしめることとなり、事業化に向けた次の展開に繋がるからである。